
平川南年譜

1965年 (昭和40年)

4月1日 山梨県教員教諭

1968年 (昭和43年)

4月1日 文化庁文化財保護部記念物課臨時職員 (史跡担当)

1969年 (昭和44年)

7月1日 多賀城町嘱託 (特別史跡多賀城跡附寺跡環境整備事業技術管理者)

1970年 (昭和45年)

4月1日 宮城県教育委員会技術職員 (宮城県多賀城跡調査研究所勤務)

1977年 (昭和52年)

4月1日 同 (東北歴史資料館勤務/兼多賀城跡調査研究所勤務)

1978年 (昭和53年)

7月1日 東北歴史資料館研究員 (兼多賀城跡調査研究所研究員)

1979年 (昭和54年)

4月1日 東北歴史資料館学芸部企画科長 (兼多賀城跡調査研究所研究員)

1982年 (昭和57年)

3月1日 国立歴史民俗博物館歴史研究部助教授

1989年 (平成1年)

11月1日 国立歴史民俗博物館歴史研究部教授 (平成16年3月31日まで)

1999年 (平成11年)

4月1日 総合研究大学院大学文化科学研究科教授 (併任)

4月1日 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻長 (平成13年3月31日まで)

4月16日 総合研究大学院大学評議員 (併任) (平成14年3月31日まで)

2001年 (平成13年)

4月1日 国立歴史民俗博物館企画調整官 (併任)

5月25日 国立歴史民俗博物館長事務代理 (平成13年7月30日まで)

2002年 (平成14年)

5月1日 国立歴史民俗博物館長事務代理 (平成14年9月6日まで)

2003年 (平成15年)

6月1日 大学共同利用機関法人化準備委員会 (人間文化研究機構検討委員会) 委員 (平成16年3月31日まで)

2004年 (平成16年)

4月1日 人間文化研究機構理事 (任命) (平成18年3月31日まで)

4月1日 総合研究大学院大学担当教授 (文化科学研究科担当) (任命)

2005年 (平成17年)

4月1日 人間文化研究機構企画連携室員 (任命) (平成18年3月31日まで)

9月1日 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館長事務取扱 (平成18年3月31日まで)

2006年 (平成18年)

4月1日 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館長 (任命)

2014年 (平成26年)

3月31日 任期満了により退職

表彰等

1990年（平成2年）

12月10日 第12回角川源義賞（財団法人角川文化振興財団）

2013年（平成25年）

7月3日 第37回野口賞（山梨日日新聞社、山梨放送、山梨文化会館）

委嘱関係

<自治体史>

1987年（昭和62年）

1月21日 福島県白河市市史編さん専門委員

1990年（平成2年）

7月31日 山梨県史編さん専門委員（平成13年7月30日まで）

1991年（平成3年）

4月1日 宮城県石巻市史執筆委員（平成8年3月31日まで）

4月1日 千葉県史編さん古代史部会専門員（平成13年3月31日まで）

1998年（平成10年）

10月5日 福島県原町市史編さん専門研究委員（平成24年3月31日まで）

11月13日 福島県鹿島町史編纂専門委員

2005年（平成17年）

6月10日 山梨県特別執筆者

9月1日 千葉県史編さん委員会委員（平成19年5月31日まで）

2006年（平成18年）

4月1日 青森県史編さん特別専門委員（平成25年3月31日まで）

4月1日 山梨県史編さん委員会委員

2010年（平成22年）

1月29日 千葉県佐倉市総合計画審議会委員（平成22年1月28日まで）

<遺跡委員>

1993年（平成5年）

8月9日 岩手県史跡徳丹城跡調査指導委員会委員（平成26年3月31日まで）

1996年（平成8年）

4月1日 新潟県和島村八幡林官衙遺跡史跡整備計画策定委員会委員

2000年（平成12年）

6月20日 青森市平成12年度埋蔵文化財発掘調査事業に係る調査員（平成13年3月31日まで）

2001年（平成13年）

10月1日 石川県津幡町加茂遺跡発掘調査委員会顧問（平成27年3月31日まで）

2002年（平成14年）

7月1日 宮城県多賀城跡調査研究委員会委員（平成25年3月31日まで）

2007年（平成19年）

1月1日 福島県いわき市国史跡根岸官衙遺跡群保存管理計画策定委員会委員（平成20年3月31日まで）

2008年（平成20年）

8月9日 岩手県胆沢城整備活用指導委員会委員（平成27年7月31日まで）

2009年（平成21年）

12月 石川県津幡町加茂遺跡発掘調査委員会委員

12月1日 宮城県特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画策定委員会委員（平成23年3月31日まで）

2013年（平成25年）

2月15日 岩手県陸前高田市文化財等保存活用計画策定委員（平成26年3月31日まで）

千葉県八千代市立郷土博物館協議会委員

<文化庁>

金石文等の保存・活用に関する懇談会委員

2005年 (平成17年)

8月1日 「わたしの旅100選」専攻委員会委員 (平成17年12月31日まで)

2006年 (平成18年)

10月27日 専門委員 (文化財分科会) (平成20年2月4日まで)

2012年 (平成24年)

3月 「民族共生の象徴となる空間」における博物館の整備・運営に関する調査検討委員会委員文化審議会
<財団>

2001年 (平成13年)

9月1日 財団法人東方学会機関代表評議員 (平成26年3月31日まで)

2005年 (平成17年)

9月1日 財団法人歴史民俗博物館振興会理事 (平成24年3月31日まで)

9月29日 財団法人日本科学技術振興財団評議員 (平成24年6月15日まで)

2008年 (平成20年)

5月31日 財団法人佐倉国際交流基金理事 (平成24年5月30日まで)

6月30日 財団法人味の素の文化センター評議員 (平成21年4月30日まで)

2012年 (平成24年)

4月1日 一般財団法人歴史民俗博物館振興会理事 (平成26年3月31日まで)

<山梨県>

2012年 (平成24年)

5月15日 山梨県富士山世界遺産センター (仮称) 整備検討委員会委員

2013年 (平成25年)

7月10日 富士山科学研究所 (仮称) 整備検討委員会委員 (平成26年3月31日まで)

<大学>

1982年 (昭和57年)

6月1日 岩手大学人文社会学部講師 (昭和58年3月31日まで)

1983年 (昭和58年)

4月1日 國學院大學大学院兼任講師 (平成13年3月31日まで)

1986年 (昭和61年)

4月1日 東京大学文学部講師 (平成元年3月31日まで)

10月1日 お茶の水女子大学文教育学部講師 (昭和62年3月31日まで)

1987年 (昭和62年)

4月1日 法政大学文学部兼任講師 (昭和63年3月31日まで)

1989年 (平成元年)

4月1日 山梨大学教育学部講師 (平成2年3月31日まで)

1994年 (平成6年)

4月1日 専修大学文学部非常勤講師 (平成8年3月31日まで)

1995年 (平成7年)

4月3日 北海道大学文学部講師 (平成8年3月31日まで)

1999年 (平成11年)

4月9日 愛媛大学法文学部講師 (平成12年3月31日まで)

2000年 (平成12年)

4月1日 早稲田大学大学院文学研究科講師 (平成13年3月31日まで)

4月1日 学習院大学非常勤講師 (平成14年3月31日まで)

-
- 10月1日 大阪大学大学院文学研究科非常勤講師（平成13年3月31日まで）
- 2004年**（平成16年）
4月1日 早稲田大学朝鮮文化研究所客員教授（非常勤）（平成19年3月31日まで）
- 2005年**（平成17年）
4月1日 東京大学教養学部非常勤講師（平成17年9月30日まで）
- <博物館>
- 1981年**（昭和56年）
4月1日 福島県立博物館収集展示委員会委員（平成25年3月31日まで）
- 1995年**（平成7年）
2月1日 東北歴史博物館（仮称）資料評価委員会委員（平成8年3月31日まで）
7月15日 長野県立歴史館資料選定委員（平成27年10月31日まで）
- 1996年**（平成8年）
12月2日 山梨県立博物館基本構想検討委員会委員
- 1998年**（平成10年）
8月1日 新潟県立歴史民俗文化館（仮称）展示物製作監修者（平成12年7月31日まで）
- 1999年**（平成11年）
9月1日 東北歴史博物館資料収集・展示委員会委員
- 2000年**（平成12年）
6月1日 八千代市立郷土博物館協議会委員（平成26年7月19日まで）
- 2004年**（平成16年）
10月1日 新潟県立歴史博物館総合研究「日本古代辺境の様相」共同研究員（平成17年3月31日まで）
- 2011年**（平成23年）
6月20日 横浜市文化財施設のあり方検討委員会委員（平成24年3月31日まで）
8月19日 北海道博物館設置プラン検討委員（平成24年3月31日まで）
- 2013年**（平成25年）
3月21日 江戸東京博物館運営委員会委員（平成26年3月31日まで）
- <選考委員等>
- 1993年**（平成5年）
7月3日 日本歴史学会評議員
- 1998年**（平成10年）
4月 甲斐国大使
4月1日 青森県「青い森の特派員」（平成14年3月31日まで）
- 2005年**（平成17年）
9月29日 味の素食の文化センター評議員（平成26年3月31日まで）
- 2006年**（平成18年）
11月19日 東京鎮台佐倉営所病院記念碑建立事業実行委員会顧問（平成19年4月30日まで）
- 2009年**（平成21年）
4月1日 木簡学会評議員（平成23年3月31日まで）
- 2010年**（平成22年）
1月1日 佐倉市総合計画審議会委員（平成23年12月31日まで）
- 2012年**（平成24年）
4月26日 水木十五堂選考委員会委員（平成26年3月31日まで）
- 2013年**（平成25年）
4月1日 古代歴史文化賞選定委員会委員（平成26年3月31日まで）
6月28日 千葉県立佐倉高等学校におけるスーパーサイエンススクール運営指導委員会委員
郵便切手アドバイザー・グループ
-

平川南主要業績目録

I 著書（編著・共著・監修）

1. 『宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅰ—多賀城漆紙文書』, (共編著), 宮城県多賀城跡調査研究所, 1979年
2. 『名取新宮寺一切経調査報告書』, (編著), 東北歴史資料館, 1980年
3. 『多賀城碑—その謎を解く』, (共編著), 雄山閣出版, 1989年 (1999年増補版)
4. 『漆紙文書の研究』, (単著), 吉川弘文館, 1989年 (1999年再版)
5. 『正倉院文書拾遺』, (編著), 国立歴史民俗博物館, 1992年
6. 『体系日本史叢書15 生活史Ⅰ』, (共著), 山川出版社, 1994年
7. 『よみがえる古代文書—漆に封じ込められた日本社会—』〈岩波新書〉, (単著), 岩波書店, 1994年
8. 『長野県屋代遺跡群出土木簡』, (共著), 長野県埋蔵文化財センター, 1996年
9. 『荒田目条里遺跡木簡調査略報—木簡が語る古代のいわき』, (共著), いわき市教育委員会, 1996年
10. 『「非文献資料の基礎的研究—古印—」報告書 日本古代印集成』, (編著), 国立歴史民俗博物館, 1996年
11. 『烽 [とぶひ] の道—古代国家の通信システム』, (共編著), 青木書店, 1997年
12. 『国立歴史民俗博物館研究報告』79—日本古代印の基礎的研究— (共編著), 国立歴史民俗博物館, 715頁, 1999年
13. 『よみがえる古代の碑』, (共著／東野治之), 歴博ブックレット⑦, 1999年
14. 『堅田B遺跡発掘調査概報』, (共著), 金沢市埋蔵文化財センター, 1999年
15. 『国立歴史民俗博物館研究報告』78—[共同研究] 都市における生活空間の史的研究— (編著), 国立歴史民俗博物館, 1999年
16. 『古代日本の文字世界』, (編著), 大修館書店, 2000年
17. 『墨書土器の研究』, (単著), 吉川弘文館, 2000年
18. 『発見! 古代のお触れ書き—石川県加茂遺跡出土加賀郡勝示札』, (監修), (財)石川県埋蔵文化財センター編, 大修館書店, 2001年
19. 『国立歴史民俗博物館研究報告』96—[共同研究] 日本歴史における災害と開発Ⅰ— (編著), 国立歴史民俗博物館, 2002年
20. 『古代地方木簡の研究』, (単著), 吉川弘文館, 2003年
21. 『文字と古代日本Ⅰ 支配と文字』, (共編／沖森卓也・栄原永遠男・山中章), 吉川弘文館, 2004年
22. 『国立歴史民俗博物館研究報告』118—[共同研究] 日本歴史における災害と開発Ⅱ— (共編著), 国立歴史民俗博物館, 2004年
23. 『文字と古代日本Ⅱ 文字による交流』, (共編／沖森卓也・栄原永遠男・山中章), 吉川弘文館, 2005年
24. 『古代日本文字の来た道—古代中国・朝鮮から列島へ—』, (編著), 大修館書店, 2005年
25. 『全集日本の歴史2 新視点古代史 日本の原像』, (単著), 小学館, 2008年
26. 『Jr. 日本の歴史』1巻, 2巻, (監修), 小学館, 2010年
27. 『よみがえる古代文書—漆紙文書が伝えてくれる古代の世界—』, (韓国語翻訳版), 韓国国立羅州文化財研究所, 周留城出版社, 2010年
28. 『東北「海道」の古代史』, (単著), 岩波書店, 2012年
29. 『環境の日本史1 日本史と環境—人と自然—』, (編著), 吉川弘文館, 2012年
30. 『律令国郡里制の実像』上巻, (単著), 吉川弘文館, 2014年
31. 『律令国郡里制の実像』下巻, (単著), 吉川弘文館, 2014年
32. 『歴博国際シンポジウム 古代日本と古代朝鮮の文字文化交流』, (編著), 大修館書店, 2014年
33. 『出土文字に新しい古代史を求めて』 (単著), 同成社, 2014年

II 論文・研究ノート等

1971年

「多賀城跡発掘調査の現況」, 『史元』12, 史元会, 49-62頁

1974年

「多賀城碑現状調査報告」, 『研究紀要Ⅰ』, 宮城県多賀城跡調査研究所, 1-11頁

「多賀城碑研究史」, 『研究紀要Ⅰ』, 宮城県多賀城跡調査研究所, 12-39頁

「多賀城跡発見の計帳様文書」, 『日本歴史』312, 日本歴史学会, 100-102頁

1975年

「多賀城 漆紙文書について」, 『宮城の文化財』43, 宮城県文化財保護協会, 2-8頁

「多賀城碑文の諸問題—真偽の論点をめぐって—」, 『研究紀要Ⅱ』, 宮城県多賀城跡調査研究所, 1-20頁

「多賀城跡の発掘調査の現状と課題」, 『日本史研究』153, 日本史研究会, 1-17頁

1976年

「陸奥・出羽官衙財政について—いわゆる「征夷」との関連を中心として—」, 『歴史』48, 東北史学会, 1-23頁

1977年

「出羽国府論」, 『研究紀要Ⅳ』, 宮城県多賀城跡調査研究所, 57-77頁

「東北古代史関係文献目録(その1) 1945~1976」, 『研究紀要Ⅳ』, 宮城県多賀城跡調査研究所, 78頁

1978年

「東北大戦争時代—東北の動乱—」, 高橋崇編『古代の地方史6 奥羽編』, 朝倉書店, 156-192頁

「払田柵跡出土の新木簡について」, 『日本歴史』357, 日本歴史学会, 13-27頁

「多賀城・柵」, 門脇禎二編『地方文化の日本史2 古代文化と地方』, 文一総合出版, 311-332頁

「古代の城柵に関する試論—「古代国家と辺境」へのアプローチ—」, 原始古代社会研究会編『原始古代社会研究』4, 校倉書房, 37-105頁

「古代東北城柵の特質について—建郡との関連を中心として—」, 『研究紀要』4, 東北歴史資料館, 37-56頁

「多賀城跡出土の「漆紙」文書について」, 『歴史と地理』279(日本史の研究103), 山川出版社, 71-77頁

1979年

「古代東北城柵再論」, 『研究紀要』5, 東北歴史資料館, 41-59頁

「秋田城跡出土の木簡」(共同執筆/秋田城跡発掘調査事務所), 『月刊考古学ジャーナル』160, ニューサイエンス社, 9-12頁

「東北地方出土の木簡について」, 『木簡研究』創刊号, 木簡学会, 78-96頁

1980年

「鎮守府論Ⅰ—陸奥鎮所について—」, 『研究紀要』6, 東北歴史資料館, 49-66頁

「宮城県下窪遺跡の漆紙文書」(共同執筆/後藤勝彦・白鳥良一), 『研究紀要Ⅶ』, 宮城県多賀城跡調査研究所, 39-49頁

1981年

「名取新宮寺一切経について」, 『仏教芸術』135, 毎日新聞社, 99-118頁

「要衝に城柵のあった古代の道—多賀城から胆沢城へ—」, 中野浩・渡辺信夫編『日本の街道1 風かけるみちのく』, 集英社, 162-167頁

1982年

「古代における東北の城柵について」, 『日本史研究』236, 日本史研究会, 2-20頁

1984年

「出雲国計会帳・解部の復原」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』3, 国立歴史民俗博物館, 1-35頁

「(鼎談)多賀城と東北の城柵」(桑原滋郎・石上英一), 『日本の美術213—多賀城跡—』, 至文堂, 86-90頁

「木簡から見た城柵」, 『歴史手帖』127, 名著出版, 28-34頁

1985年

「胆沢城出土の漆紙文書」, 『えとのす』26, 新日本教育図書株式会社, 111-120頁

-
- 「漆紙文書に関する基礎的研究」、『国立歴史民俗博物館研究報告』6, 国立歴史民俗博物館, 1-70 頁
- 1986年
- 「千葉県吉原三王遺跡の墨書土器—5. 墨書土器の内容と考察」、『考古学雑誌』71-3, 日本考古学会, 34-40 頁
- 1987年
- 「文字資料研究の現状—漆紙文書—」, 『季刊 考古学』18, 雄山閣出版, 51-54 頁
- 「俘囚と夷俘」, 『青木和夫先生還暦記念論集 日本古代の政治と文化』, 吉川弘文館, 265-318 頁
- 1989年
- 「古代国府関係史料集成 (その2)」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』20, 国立歴史民俗博物館, 1-101 頁
- 「古代集落と墨書土器—千葉県八千代市村上込の内遺跡の場合—」(共同執筆/天野努・黒田正典), 『国立歴史民俗博物館研究報告』22, 国立歴史民俗博物館, 137-238 頁
- 1990年
- 「新潟県北蒲原郡笹神村発久遺跡出土の木簡について」(共同執筆/小林昌二・川上貞雄), 『新潟史学』24, 新潟史学会, 3-15 頁
- 「東国の村落」, 日本村落史講座編集委員会『日本村落史講座2 景観Ⅰ 原始・古代・中世』, 雄山閣出版, 121-137 頁
- 「解説—宮久保遺跡・今子路西遺跡・下野国府跡・郡山遺跡・多賀城跡・胆沢城跡・道伝遺跡・秋田城跡・払田柵跡」, 木簡学会編『日本古代木簡選』, 岩波書店, 185-187 頁・197-199 頁・201-210 頁
- 1991年
- 「墨書人面土器と文字」, 『藤沢市史研究—特集 南鍛冶山遺跡を考えるシンポジウム記録24—』, 藤沢市史編集委員会, 80-91 頁
- 「座談会『木簡の魅力』」(共同執筆/東野治之・富谷至), 『月刊しにか—特集 木簡の世界—』5, 大修館書店, 8-15 頁
- 「刀剣に刻まれた文字—日本古代国家形成を解く鍵—」, 『エデューカーレ』1-3 (通巻21) 歴史3, 第一学習社, 6-9 頁
- 「畿内と東国と蝦夷」, 『群馬県史』通史編2 原始古代2, 群馬県史編さん委員会, 183-199 頁
- 「律令体制の動揺と東国」, 『群馬県史』通史編2 原始古代2, 群馬県史編さん委員会, 405-430 頁
- 「多賀城市山王遺跡第9次調査の木簡について」, 『月刊考古学ジャーナル』339, ニューサイエンス社, 24-28 頁
- 「造都と征夷」, 橋本義彦編『古文書の語る日本史2 平安』第一章, 筑摩書房, 9-66 頁
- 「墨書土器とその字形—古代村落における文字の実相—」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』35, 国立歴史民俗博物館, 67-130 頁
- 1992年
- 「古代都市と水害」, 『河川』548, 社団法人日本河川協会, 30-37 頁
- 『石巻の歴史』8 古代・中世編 (資料編2), 石巻市
- 「海道・牡鹿地方」, 『石巻の歴史』6 特別史編, 石巻市, 263-305 頁
- 「律令支配の諸相 コラム『多賀城碑』」, 首藤隆司・今泉隆雄編『新版 古代の日本⑨ 東北・北海道』, 角川書店, 233-260 頁
- 「律令制と東国」, 戸沢充則・笹山晴生編『新版 古代の日本⑧ 関東』, 角川書店, 209-240 頁
- 「古代の内神について—胆沢城跡出土木簡から発して—」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』45—田中稔先生追悼記念一, 国立歴史民俗博物館, 1-37 頁
- 1993年
- 「多賀城の創建時代—木簡の検討を中心として—」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』50—故土田直鎮館長献呈論文集一, 国立歴史民俗博物館, 23-56 頁
- 「秋田城跡出土の上総国関係木簡」, 『千葉県史研究』創刊号, 千葉県, 53-60 頁
- 「『厨』墨書土器論」, 『山梨県史研究』創刊号, 山梨県, 36-69 頁
- 「地方の木簡」, 川崎市民ミュージアム編『古代東国と木簡』, 雄山閣出版, 24-48 頁
-

-
- 「東国出土の漆紙・漆紙文書」, 川崎市民ミュージアム編『古代東国と木簡』, 雄山閣出版, 195-210頁
「地下から発見された文字」, 木下正史・石上英一編『新版 古代の日本⑩ 古代資料研究の方法』, 角川書店, 195-210頁
「総論 土器に記された文字」, 『月刊文化財—特集墨書土器の世界—』362, 第一法規出版, 4-10頁
- 1994年
「古代東北と海運」, 北上川流域の歴史と文化を考える会編『平泉の原像』, 三一書房, 83-99頁
「漆紙文書と地方行政」, 岩波講座『日本通史』4古代3, 岩波書店, 325-346頁
「多賀城碑—その謎を解く—」, 『日本三古碑は語る』, 群馬県立歴史博物館, 80-83頁
- 1995年
「木簡と漆紙文書」, 『放送大学教材 歴史考古学』, 放送大学教育振興会, 150-162頁
「八幡林遺跡と地方官衙論」, 『木簡研究』17, 木簡学会, 251-267頁
「郡符木簡—古代地方行政論に向けて—」, 虎尾俊哉編『律令国家の地方支配』, 吉川弘文館, 2-71頁
「共同研究の実施概要」 「古代国府関係資料集 (その3)」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』63—[共同研究] 都市空間の形成過程についての研究一, 国立歴史民俗博物館, 4-8頁・271-366頁
- 1996年
「《講演録》漆紙文書が語る古代史」, 『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』11, 秋田県埋蔵文化財センター, 79-101頁
「里刀自小論—いわき市荒田目条里遺跡第2号木簡から—」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』66, 国立歴史民俗博物館, 5-24頁
「“古代人の死”と墨書土器」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』68, 国立歴史民俗博物館, 45-77頁
「地下の文字から古代地方社会を読む」, 『九州歴史大学講座』66, 九州歴史大学講座事務局, 10-15頁
「道奥の島」 「コラム 木簡—田道町遺跡」 「延暦期以降の征討と海道」 「コラム 漆紙文書—胆沢城跡」 「和名抄の時代」, 『石巻の歴史』1 通史編 (上), 石巻市, 210-230頁・255頁・339-344頁・345頁・348-353頁
『千葉県の歴史』資料編 古代, 千葉県
「古代社会における文字の習熟度はどの程度であったか—調査の現場から—」, 『国文学 解釈と教材の研究』41-6, 学燈社, 116-125頁
「古代の籍帳と道制—発掘された古代文書から—」, 『九州史学』116, 九州大学国史学研究会, 41-58頁
「古代における人名の表記—最新の木簡から発して—」, 『国史学』161, 国史学会, 1-30頁
「烽 (とぶひ) 遺跡発見の意義」, 『シンポジウム古代国家とのろし—宇都宮市飛山城跡発見の烽跡をめぐって—』, シンポジウム古代国家とのろし実行委員会・宇都宮市教育委員会, 1-2頁
- 1997年
「古代出土文字資料の語るもの」, 歴博大学院セミナー『新しい史料学を求めて』, 吉川弘文館, 1-44頁
「新しい古代資料の研究手法」, 歴史科学協議会編『卒業論文を書く』, 山川出版社, 147-160頁
「多賀城の設置」 「多賀城の変遷」, 『多賀城市史』1, 多賀城市, 215-263頁
「八幡林遺跡の木簡・墨書土器」, 『和島村史』通史編, 新潟県和島村, 78-89頁
- 1998年
「郡符木簡などからみた末端行政の実態」, 『律令国家の地方末端支配機構をめぐって—研究集会の記録—』, 奈良国立文化財研究所, 135-152頁
「日本列島における文字のはじまりとひろがり」, 『国語教室』65, 大修館書店, 28-32頁
「討論のまとめ」 (共同執筆/佐藤信), 『木簡研究』20 (長野特別研究集会の記録), 木簡学会, 334-337頁
- 1999年
「古代木簡からみた地方豪族」, 国立歴史民俗博物館編『考古資料と歴史学』, 吉川弘文館, 127-157頁
「福岡県前原市三雲遺跡群の刻書土器」, 『月刊考古学ジャーナル』440, ニューサイエンス社, 6-11頁
「大六天遺跡出土のへら書「少殺殿」土器」, 『鹿島町史』, 福島県鹿島町, 724-728頁
「屋代遺跡群木簡のひろがり—古代中国・韓国資料との関連—」, 『信濃』590, 信濃史学会, 145-168頁
「共同研究の経過と概要」 「古代地方都市論—多賀城とその周辺—」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』78—
-

-
- [共同研究] 都市における生活空間の史的 연구— (編集), 国立歴史民俗博物館, 1-4 頁・1-29 頁
 「新発見の「種子札」と古代の稲作」, 『国史学』169, 国史学会, 1-56 頁
 「出土文字資料と正倉院文書」, 石上英一他編『古代文書論—正倉院文書と木簡・漆紙文書—』, 東京大学出版会, 187-225 頁
 「座談会 日本の古代を問い直す」(広松渉・神野志隆光・石上英一・義江彰夫), 万葉七曜会編『論集上代文学』23, 笠間書院, 69-161 頁
 「講演 日本最古の文字」, 神野志隆光編『古事記の現在』, 笠間書院, 3-25 頁
 「対談 文字資料の現在と古代」(神野志隆光), 『国文学 解釈と教材の研究』44-11, 学燈社, 6-21 頁
 「日本列島における文字の始まり」, 『NATIONAL GEOGRAPHIC (日本版)』1999-8, 日経ナショナルジオグラフィック社, 164-165 頁
- 2000年
- 「正倉院調庸純墨書銘文—甲斐国関係—小考」, 『山梨県史研究』8, 山梨県, 86-96 頁
 「日本古代木簡研究の現状と新視点」[附 威安・城山山城木簡], 『韓国古代史研究』19, 韓国古代史学会, 123-154 頁
 「新発見の「種子札」と稲作」, 『甲斐路』97, 山梨郷土研究会, 1-15 頁
- 2001年
- 「家持と日本海沿岸の文字世界」, 『高岡市萬葉歴史館叢書 13 家持の争点 I』, 高岡市萬葉歴史館, 222-252 頁
 「律令行政と文書」, 『千葉県の歴史』通史編古代 2, 千葉県, 163-195 頁
 「防人と鎮兵」, 『千葉県の歴史』通史編古代 2, 千葉県, 257-288 頁
 「井上薬師堂遺跡出土木簡」, 『小郡市史』4 資料編, 小郡市史編纂委員会, 752-771 頁
 「飯田市上郷考古学博物館平成十二年度秋季展示特別講演 古代信濃の文字世界」, 『伊那』2001-6, 伊那史学会, 3-12 頁
 「二. 蝦夷と多賀城」「三. 越の国と中央」「四. 東国の役所と支配」, 平野邦雄・鈴木靖民編『木簡が語る古代史』下, 吉川弘文館, 57-123 頁
- 2002年
- 「加賀郡勝示札について」, 『シンポジウムの記録 古代北陸道に掲げられたお触れ書き』, 石川県教育委員会・石川県埋蔵文化財センター, 21-28 頁
 「出土文字資料からみた地方の交通」, 『古代交通研究』11, 古代交通研究会, 133-146 頁
 「共同研究の経過と概要」[古代における地域支配と河川], 『国立歴史民俗博物館研究報告』96— [共同研究] 日本歴史における災害と開発 I—, 国立歴史民俗博物館, 1-6 頁, 351-391 頁
 「「景初三年」銘三角縁神獸鏡の銘文」, 『神原神社古墳』, 鳥根県加茂町教育委員会, 179-197 頁
 「長野県内出土・伝世の古代印の再検討」, 『長野県考古学会誌』99・100, 長野県考古学会, 1-20 頁
 「歴史学の新生—地域社会と環境—」, 『駒沢大学史学論集』32, 駒沢大学大学院史学会, 1-23 頁
 「加賀郡勝示札について」, 『シンポジウムの記録 古代北陸道に掲げられたお触れ書き』, 石川県教育委員会・石川県埋蔵文化財センター, 21-28 頁
 「さがみの国の木簡」, 『神奈川県立歴史博物館総合研究報告総合研究—さがみの国と郡の文化交流』, 神奈川県立歴史博物館, 53-64 頁
- 2003年
- 「古代における里と村—史料整理と分析—」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』108, 国立歴史民俗博物館, 45-73 頁
 「木簡を観る」(巻頭言), 『木簡研究』25, 木簡学会, 1-2 頁
- 2004年
- 「甲斐の交通」, 『山梨県史』通史編 1 原始・古代, 山梨県, 591-601 頁
 「防人」, 『山梨県史』通史編 1 原始・古代, 山梨県, 602-609 頁
 「古代日本の文字世界」, 菊池徹夫編『文字の考古学 II』, 同成社, 73-118 頁
 「古代地方社会と文字」, 『美夫君志』69, 美夫君志会, 19-41 頁
-

「総説 文字による支配」, 平川南・沖森卓也・栄原永遠男・山中章編『文字と古代日本Ⅰ 支配と文字』, 吉川弘文館, 1-7頁

「共同研究の経過と概要」 「中世都市鎌倉以前一東の海上ルートの実相」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』118, 国立歴史民俗博物館, 1-6頁, 253-281頁

2005年

「古代日本社会における『情報』伝達」, 『学芸総合誌 環—歴史・環境・文明』20, 藤原書店, 195-197頁

「古代越後国の磐船郡と沼垂郡」, 小林昌二編『古代の越後と佐渡—環日本海歴史民俗学叢書12』, 高志書院, 107-128頁

「総説 伝達・記録方法と外交・軍事」, 平川南・沖森卓也・栄原永遠男・山中章編『文字と古代日本Ⅱ 文字による交流』, 吉川弘文館, 1-5頁

「木と紙」, 平川南・沖森卓也・栄原永遠男・山中章編『文字と古代日本Ⅱ 文字による交流』, 吉川弘文館, 70-107頁

「古代東国史の再構築に向けて—その序章」, 『上代文学』94, 上代文学会, 22-51頁

「自然環境を生かす歴史の里造り」, 『文化福島』401, 福島文化振興事業団, 3頁

「新たな地域像の確立に向けて—地域史の視点から—」, 『15周年記念誌』, 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会, 70-76頁

「よみがえる佐倉地方の地名—発掘された墨書土器から—」, 『佐倉地名研究会報告』32, 佐倉地名研究会事務局, 1-27頁

2006年

「古代東国論—歴史と文学の往来」, 仁藤敦史編『歴史研究の最前線 Vol.5 歴史と文学のあいだ』, 総研大・国立歴史民俗博物館, 35-62頁

「古代日本における地方社会と文字」, 深津行徳・浦野聡編『古代文字史料の中心性と周縁性』, 春風社, 217-239頁

「『甲斐国□戌人』記載の木簡」口絵解説, 『山梨県史研究』14, 山梨県

「古代国家と稲—1200年前の稲の品種札の発見から」, 甚野尚志編『東大駒場連続講座 歴史をどう書くか』, 講談社選書, 98-130頁

「百済と古代日本における道の祭祀—陽物木製品を中心に—」, 『百済泗泚時期文化の再照明』, 韓国・国立扶餘文化財研究所, 213-227頁

「再現 古代磐城の里—根岸官衙遺跡を拠点として—」, 『いわきの古代の風』創刊号, いわき古代史研究会, 3-16頁

「アジアに開かれた古代日本」, 『山梨学講座4 山梨の人と文化—日本とアジアの架け橋になった人々—』, 山梨ふるさと文庫, 14-37頁

「今, なぜ人文学か—現代的課題と歴史学の役割—」, 『IDE 現代の高等教育』485, IDE 大学協会, 25-29頁

「道祖神信仰の源流—古代の道の祭祀と陽物形木製品から—」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』133, 国立歴史民俗博物館, 317-350頁

2007年

「今, なぜ博物館か」(巻頭エッセイ), 『博物館研究』42-7(通号469), 日本博物館協会, 2-3頁

「開かれた山国」, 『山梨学講座5 山梨の人と文化—山と向き合った人々—』, 山梨ふるさと文庫, 10-30頁

「博物館と豊かな地域社会」, 『潮流』35, いわき地域学会, 1-12頁

2008年

「資源・研究・展示の融合が新たな歴史観を開く」(インタビュー), 『Cultivate』31, 文化環境研究所, 29-32頁

「〈総会記念講演〉『種子札(たねふだ)』の発見と古代の稲作」, 『房総史学』48, 千葉県高等学校教育研究会歴史部会, 6-21頁

2009年

「百済の都出土の「連公」木簡—韓国・扶餘双北里遺跡一九九八年出土付札—」, 『国立歴史民俗博物館研

-
- 究報告』153, 国立歴史民俗博物館, 129-147 頁
- 「古代朝鮮と日本を結ぶ木簡学」, 『国文学 解釈と教材の研究』54-6, 学燈社, 6-23 頁
- 「小田原市千代南原遺跡木簡」, 『千代寺院跡の実像を探る』記録集—千代寺院跡発掘 50 周年記念シンポジウム—, 小田原市教育委員会, (1)-(3) 頁
- 「日韓古代世界の年紀表記」, 『日韓における古墳・三国時代の年代観 (Ⅲ)』, 国立歴史民俗博物館・国立釜山大学校博物館, 11-48 頁
- 「米作国家のはじまり」, 『揺らぎの中の日本文化—原像・怪異・日本美術—』, 岡山大学出版会, 3-14 頁
- 「韓国・城山山城木簡」, 付篇「慶州・雁鴨池木簡, 扶餘・陵山里木簡」(共同執筆), 早稲田大学朝鮮文化研究所・韓国国立加耶文化財研究所『アジア研究機構叢書人文学篇 3 日韓共同研究資料集 咸安・城山山城木簡』, 雄山閣, 113-119 頁・139-155 頁
- 「地域社会と歩む博物館」(随想), 『人事試験研究』213, 日本人事試験研究センター, 15 頁
- 2010年
- 「正倉院佐波理加盤付属文書の再検討—韓国木簡調査から—」, 『日本歴史』750, 日本歴史学会, 1-15 頁
- 「史料紹介 百済の都出土の「那尔波連公」木簡」, 『木簡研究』32, 木簡学会, 164-168 頁
- 「見えてきた古代の「列島」—地方に生きた人びと—」, 木簡学会編『木簡から古代がみえる』, 岩波書店, 79-106 頁
- 「出雲古代史研究への期待」, 『しまねの古代文化』17, 島根県古代文化センター, 47-61 頁
- 「古代の成田と香取の海」, 『成田市史研究』34, 成田市教育委員会, 1-18 頁
- 2011年
- 「多胡碑の輝き」, 『シンポジウム「多胡碑は何を伝えようとしたのか」—多胡郡の成立とその時代—資料集』, 高崎市教育委員会, 14-24 頁
- 「日本古代における文字使用」, 『資料学の方法を探る (10)』, 愛媛大学「資料学」研究会, 46-58 頁
- 「漢字の歴史を巡る旅—日本漢字文化の始まりに迫る」, 『漢検ジャーナル』(財団法人日本漢字能力検定協会情報誌), (財)日本漢字能力検定協会, 6-9 頁
- 2012年
- 「はじめに」, 国立歴史民俗博物館編『被災地の博物館に聞く—東日本大震災と歴史・文化資料』, 吉川弘文館, 3-6 頁
- 「多胡碑の輝き」, 土生田純之・高崎市編『多胡碑が語る古代日本と渡来人』, 吉川弘文館, 48-76 頁
- 「古代社会と馬—東国国府と栗原郷「馬道」集団—」, 鈴木靖民編『日本古代の地域社会と周縁』, 吉川弘文館, 99-136 頁
- 「徳丹城と古代日本—斯波郡建郡 1200 年—」, 『徳丹城歴史探訪事業』, 矢巾町教育委員会, 25-37 頁
- 「東北沿岸の歴史を想う」, 『図書』760, 岩波書店, 1 頁
- 「今, 自然と人のかかわりの歴史・文化を考える—博物館からのメッセージ」, 『博物館研究』47-6 (通巻 528), 日本博物館協会, 20-23 頁
- 「人と自然のかかわりの歴史—『環境の日本史』の視座—」, 平川南編『環境の日本史 1 日本史と環境—人と自然—』, 吉川弘文館, 1-36 頁
- 2013年
- 「古代における道の祭祀—道祖神信仰の源流を求めて—」, 『やまなしの道祖神祭り—どうそじん・ワンダーワールド』, 山梨県立博物館, 88-96 頁, (2005 年改訂版)
- 「秋田県由利本荘市川口の大覚遺跡出土銅印」, 新野直吉監修/由理柵・駅家研究会編『古代由理柵の研究』, 高志書院, 257-275 頁
- 「古代東北・日本海沿岸地域史を語る—由利・大覚遺跡の銅印から発して—」, 『鶴舞』100, 本荘地域文化財保護協会, 1-30 頁
- 「日本文化の特質—稲と漆から見る新しい視点—」, 『総合研究大学院大学葉山彙報』2, 総合研究大学院大学, 47-53 頁
- 「古代の郡家と里・郷」, 『国立歴史民俗博物館研究報告』178—開館 30 周年記念論文集 I—, 国立歴史民
-

俗博物館, 281-304 頁

「歴史・民俗研究者と東日本大震災」, 『歴史と地理』667 (日本史の研究 242), 山川出版社, 50-54 頁
2014 年

「(座談会) 今, 博物館団体に求められる底力 (2)~東京会場から」(海部陽介・神庭伸幸・栗原祐司・斎藤靖二・名兄耶明・半田昌之・宮瀧交二・司会: 森田利仁), 『博物館研究』49-1 (通巻 547), 日本博物館協会, 5-20 頁

Ⅲ 報告書等

1971年

『多賀城跡一昭和 45 年度発掘調査概報一』(共同執筆/岡田茂弘等), 宮城県多賀城跡調査研究所

1972年

『多賀城跡一昭和 46 年度発掘調査概報一』(共同執筆/岡田茂弘等), 宮城県多賀城跡調査研究所

1973年

『多賀城跡一昭和 47 年度発掘調査概報一』(共同執筆/岡田茂弘等), 宮城県多賀城跡調査研究所

1974年

『多賀城跡一昭和 48 年度発掘調査概報一』(共同執筆/岡田茂弘等), 宮城県多賀城跡調査研究所

1975年

『多賀城跡一昭和 49 年度発掘調査概報一』(共同執筆/岡田茂弘等), 宮城県多賀城跡調査研究所

『多賀城と古代日本一埋もれた史跡をたずねて一』(共同執筆/岡田茂弘等), 東北歴史資料館

『桃生城跡 I』(共同執筆/岡田茂弘等), 宮城県多賀城跡調査研究所

1976年

「古代の白河郡について」, 『福島県文化財調査報告書第 54 集 関和久遺跡Ⅳ』, 福島県教育委員会, 38-48 頁

『多賀城跡一昭和 50 年度発掘調査概報一』(共同執筆/氏家和典等), 宮城県多賀城跡調査研究所

『桃生城跡Ⅱ』(共同執筆/氏家和典等), 宮城県多賀城跡調査研究所

『払田柵跡一昭和 50 年度発掘調査概要一』(執筆/「木簡」の項), 秋田県教育委員会, 28-33 頁

1977年

『多賀城跡一昭和 51 年度発掘調査概報一』(共同執筆/氏家和典等), 宮城県多賀城跡調査研究所

1978年

「城生遺跡に関する文献上の検討」, 『中新田町文化財調査報告書第 1 集 城生遺跡』, 中新田町教育委員会, 23-27 頁

『多賀城跡一昭和 52 年度発掘調査概報一』(共同執筆/氏家和典等), 宮城県多賀城跡調査研究所

『伊治城跡Ⅰ』(共同執筆/氏家和典等), 宮城県多賀城跡調査研究所

「秋田城関係史料集」『秋田城跡一昭和 52 年度発掘調査概報一』, 秋田市教育委員会, 1-17 頁

1979年

『多賀城跡一昭和 53 年度発掘調査概報一』(共同執筆/後藤勝彦等), 宮城県多賀城跡調査研究所

『伊治城跡Ⅱ』(共同執筆/後藤勝彦等), 宮城県多賀城跡調査研究所

「井戸跡出土の木簡について」『秋田城関係史料集 (その 2)』『秋田城跡一昭和 53 年度発掘調査概報一』, 秋田市教育委員会, 73-83 頁・1-13 頁

『発掘された古代の東北』(編集担当, 共同執筆/佐々木光雄等), 東北歴史資料館

1980年

「宮沢遺跡に関する文献上の検討」, 『宮城県文化財調査報告書 69 宮沢遺跡一東北自動車道遺跡調査報告書Ⅲ』, 宮城県教育委員会, 215-223 頁

『多賀城跡一昭和 54 年度発掘調査概報一』(共同執筆/後藤勝彦等), 宮城県多賀城跡調査研究所

『伊治城跡Ⅲ』(共同執筆/後藤勝彦等), 宮城県多賀城跡調査研究所

『多賀城跡 政庁跡図録編』(共同執筆/後藤勝彦等), 宮城県多賀城跡調査研究所

「角材墨書銘について」『払田柵跡一第 23-30 次発掘調査概要』, 秋田県教育委員会, 46-47 頁

-
- 『関和久遺跡Ⅷ—史跡指定調査概報—』(執筆/「墨書土器」の項), 福島県教育委員会, 23-24 頁
『落合Ⅱ遺跡—東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書Ⅵ—』(執筆/「木簡」の項), 岩手県教育委員会, 322-324 頁
『多賀城—多賀城市史編さん報告書第1集—』(執筆/「多賀城関係史料集Ⅰ」), 多賀城市史編さん委員会
『名取の里 熊野信仰と一切経』(編集担当, 共同執筆), 東北歴史資料館
『青木遺跡—東北自動車道遺跡調査報告書Ⅳ—』(執筆/「墨書土器」の項), 宮城県教育委員会
『明神脇遺跡—東北自動車道遺跡調査報告書Ⅳ—』(執筆/「墨書土器」の項), 宮城県教育委員会
「山形県道伝遺跡・木簡」(共同執筆/藤田宥宣), 『木簡研究』2, 木簡学会, 47-50 頁
- 1981年
『宮城県多賀城跡調査研究所年報 1980 多賀城跡』(共同執筆/後藤勝彦等), 宮城県多賀城跡調査研究所
『名生館遺跡Ⅰ』(共同執筆/後藤勝彦等), 宮城県多賀城跡調査研究所
『多賀城—多賀城市史編さん報告書第2集—』(執筆/「多賀城関係史料集Ⅱ」), 多賀城市史編さん委員会, 31-39 頁
「宮城・多賀城跡・木簡」, 『木簡研究』3, 木簡学会, 38-41 頁
- 1982年
「下野国府跡出土の木簡について」, 『下野国府跡Ⅳ 昭和 56 年発掘調査概報』, 栃木県教育委員会, 58-63 頁
「仙台市郡山遺跡の木簡」, 『郡山遺跡Ⅱ 昭和 56 年度発掘調査概報』, 仙台市教育委員会, 74-79 頁
「胆沢城跡新発見の漆紙文書および木簡」, 『胆沢城跡—昭和 56 年度発掘調査概報』, 水沢市教育委員会, 1-25 頁
「律令制下の多賀城」, 『多賀城跡—政庁跡本文編』, 宮城県多賀城跡調査研究所
「宮城・郡山遺跡」(共同執筆/木村浩二), 『木簡研究』4, 木簡学会, 56-58 頁
- 1983年
「漆紙・第7号」, 『胆沢城跡—昭和 57 年度発掘調査概報』, 水沢市教育委員会, 45-49 頁
- 1984年
「山形県道伝遺跡の木簡」, 『川西町埋蔵文化財調査報告書第8集 道伝遺跡発掘調査報告書』, 川西町教育委員会, 73-80 頁
「『ホイド清水』出土の木簡」, 『払田柵跡—第49~2・3・53・54次発掘調査概要—』, 秋田県教育委員会, 78-83 頁
「胆沢城跡第43次調査出土漆紙文書」, 『胆沢城跡—昭和 58 年度発掘調査概報』, 水沢市教育委員会, 1-30 頁
「秋田城跡第2号・第3号漆紙文書について」, 『秋田城跡発掘調査事務所研究紀要Ⅰ 秋田城出土文字資料集Ⅰ』, 秋田市教育委員会, 1-20 頁
- 1985年
「胆沢城跡第45次調査出土漆紙文書」, 『胆沢城跡—昭和 59 年度発掘調査概報』, 水沢市教育委員会, 43-56 頁
「古代の白河郡」, 『福島県文化財調査報告第153集 関和久遺跡』, 福島県教育委員会, 285-302 頁
「第55次発掘調査出土の木簡」, 『払田柵跡—第55-59次発掘調査概要—』, 秋田県教育委員会, 51-52 頁
- 1986年
「日野市落川遺跡の漆紙」, 『日野市落川遺跡調査略報—59年度』, 日野市落川遺跡調査会, 30-31 頁
- 1987年
「第52次調査出土資料—SE1050 井戸の木簡・木製品について」, 『胆沢城跡—昭和 61 年度発掘調査概報』, 水沢市教育委員会, 56-64 頁
「鹿の子遺跡 e 区・f 区調査の漆紙文書について」, 『鹿の子遺跡発掘調査報告書(第3次)』, 茨城県石岡市教育委員会, 83②-94①頁
「福島県岩瀬郡天栄村発見の銅印について」, 『志古山遺跡—試掘調査報告Ⅱ—』, 天栄村教育委員会, 20-22 頁
- 1988年
-

「石川県徳久・荒屋遺跡出土墨書土器」、『辰口西部遺跡群Ⅰ』、石川県立埋蔵文化財センター、172-173頁
「銘文の解説と意義」、市原市教育委員会・市原市文化財センター編『「王賜」銘鉄剣概報』、吉川弘文館、18-26頁

1989年

「具注暦について」、『武蔵国分寺跡出土の漆紙文書—武蔵台遺跡—』、府中病院内遺跡調査会、5-13頁
「能登国分寺跡南方出土木簡について」、『史跡能登国分寺跡—第5・6・7次発掘調査報告書—』、石川県七尾市教育委員会、110-111頁

1990年

「秋田城跡第54次調査地出土の漆紙文書—〔(出羽国)大帳案]様文書—』、『秋田城跡—平成元年度発掘調査概報』、秋田市教育委員会、1-6頁
「庄作遺跡出土の墨書土器」、『千葉県芝山町小原子遺跡群調査報告書』、山武考古学研究所、768-779頁
「宮久保遺跡出土の木簡について」「墨書土器について」、『神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告15宮久保遺跡Ⅲ(本文篇)』、神奈川県立埋蔵文化財センター、841-843頁・844頁
「門田条里制跡出土木簡について」、『門田条里制跡発掘調査報告書』、福島県会津若松市教育委員会、77-86頁
「下神遺跡の漆紙文書について」「下神遺跡の墨書土器について」、『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書6—松本市内その3—下神遺跡』、長野県教育委員会・長野県埋蔵文化センター、(1)-(5)頁
「市川橋遺跡第7次調査出土の漆紙文書について」、『市川橋遺跡—発掘調査報告書平成元年度〔1〕』、多賀城市埋蔵文化財調査センター、1-3頁

1991年

「付節 木簡」、『1989年度埋蔵文化財発掘調査報告書』、新潟市教育委員会、23-25頁
「木簡について」(共同執筆/小林昌二)、『発久遺跡発掘調査報告書』、新潟県笹神村教育委員会、1-12頁
「米沢市大浦B遺跡出土の漆紙文書について」、『大浦B遺跡 平成二年度発掘調査概報』、米沢市教育委員会、1-18頁
「SD31 出土木簡について」、『上町カイダ遺跡』、石川県立埋蔵文化財センター、146-147頁
「石川・上荒屋遺跡出土木簡」、『木簡研究』13、木簡学会、99-105頁

1992年

「石巻市田道町遺跡出土木簡」、『木簡研究』14、木簡学会、111-112頁
「山王遺跡出土の漆紙文書および木簡」、『山王遺跡第12次調査概報』、多賀城市埋蔵文化財調査センター、1-31頁
「第25次調査出土木簡」「第39次調査出土木簡」「第54次調査出土木簡」「第54次調査出土漆紙文書」、『秋田城跡調査事務所研究紀要Ⅱ 秋田城出土文字資料集Ⅱ』、秋田市教育委員会、2-194頁
「岩手県遠野市高瀬Ⅰ遺跡の墨書土器」、『高瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡』、遠野市教育委員会、363-366頁

1993年

「三島市桶田遺跡出土の墨書土器」、『三島市埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』、三島市教育委員会、80-83頁

1994年

「榎垣外遺跡榎海戸地籍出土の墨書土器」、『志平・長塚・地獄沢遺跡発掘調査報告書(概報)』、岡谷市教育委員会、16-17頁
「今塚遺跡出土木簡の解説」、『今塚遺跡発掘調査報告書』、山形県埋蔵文化財センター、80-81頁
「金沢市三小牛ハバ遺跡出土木簡」、『三小牛ハバ遺跡』、金沢市教育委員会、64-70頁
「墨書土器」「漆紙文書」、『関和久上町遺跡』、福島県教育委員会、193-197頁
「門田条里遺跡出土木簡について」、『会津若松市門田条里遺跡発掘調査報告書Ⅳ』、会津若松市教育委員会、143-144頁
「払田柵跡出土木簡」、『払田柵跡—第94-97次調査概要—』、秋田県教育委員会、27-29頁
「竹花遺跡第4号土坑出土の漆紙文書について」(共同執筆/古尾谷知浩)、『長野県小諸市東下原・大下原・竹花・舟窪・大塚原遺跡発掘調査報告書』、小諸市教育委員会、625-628頁

-
- 「埼玉県鶴ヶ島市一天狗遺跡出土漆紙文書」, 『一天狗遺跡 N 地点発掘調査報告書』, 鶴ヶ島市遺跡調査会, 40 頁
- 『〔特定研究〕香取・鹿島に関する史的研究—1990・1991 年度研究報告—』(編集), 国立歴史民俗博物館, 1-230 頁
- 1995年
- 「日野市栄町遺跡の漆紙」(共同執筆/古尾谷知浩), 『日野市栄町遺跡 第 4 分冊・自然科学編』, 日野市栄町遺跡調査会, 67 頁
- 「主要木簡の积文と解説」, 『木簡は語る—荒田目条里遺跡—』, いわき市教育文化事業団, 1-3 頁
- 「群馬県富岡市内匠日向周地遺跡出土の木簡」, 『内匠日向周地遺跡・下高瀬寺山遺跡・下高瀬前田遺跡』, 群馬県埋蔵文化財調査事業団, 318-322 頁
- 「大坪遺跡出土木簡について」, 『大坪遺跡第 2 次発掘調査報告書』, 山形県埋蔵文化財センター, 69-70 頁
- 「宮城県石巻市田道町遺跡木簡」, 『田道町遺跡』, 石巻市教育委員会, 1-6 頁
- 「門新遺跡出土漆紙文書」(共同執筆/鐘江宏之・古尾谷知浩), 『門新遺跡』, 新潟県和島村教育委員会, 19-24 頁
- 「出土した漆紙文書について」(共同執筆/鐘江宏之・古尾谷知浩), 『山王遺跡—第 17 次調査—出土の漆紙文書』, 多賀城市教育委員会, 5-32 頁
- 「所沢市東の上遺跡漆紙文書」, 『東の上遺跡 第 53 次・54 次調査』, 所沢市教育委員会, 2-9 頁
- 「長崎県壱岐郡原の辻遺跡出土の木簡」, 『原の辻遺跡』, 長崎県教育委員会, 1-7 頁
- 1996年
- 「会津若松市矢玉遺跡木簡・漆紙文書」, 『若松北部地区県営ほ場整備事業発掘調査概報』IV, 会津若松市教育委員会, 1-5 頁
- 「福島・大猿田遺跡」(共著/大越道正), 『木簡研究』18, 木簡学会, 117-119 頁
- 「横江庄遺跡出土木簡」, 『東大寺領横江庄遺跡 II』, 松任市教育委員会, 313 頁
- 1997年
- 「金沢市金石本町遺跡木簡」, 『金石本町遺跡』, 石川県立埋蔵文化財センター, 68-72 頁
- 「東広島市西本 6 号遺跡出土の墨書土器」, 『東広島市西本 6 号遺跡』, 東広島市教育委員会, 41-44 頁
- 「払田柵跡第 107 次調査出土の木簡」(共同執筆/熊田亮介・三上喜孝), 『払田柵跡—第 107-109 次調査概要—』, 秋田県教育委員会, 1-34 頁
- 「伊興遺跡出土の『急々如律令』木簡について」, 『伊興遺跡』, 足立区伊興遺跡調査会, 293-295 頁
- 「札幌市 K39 遺跡長谷工地点ヘラ書土器」, 『K39 遺跡長谷工地点』, 札幌市教育委員会, 170-171 頁
- 1998年
- 「払田柵跡第 112 次(外郭水門西北部)調査木簡」, 『払田柵跡—第 110-112 次調査概要—』, 秋田県教育委員会, 4-9 頁
- 「木簡の积文と意義」, 『下ノ西遺跡—出土木簡を中心として』, 新潟県和島村教育委員会, 17-23 頁
- 「熊本県鞠智城跡出土木簡」, 『鞠智城跡—第 19 次調査報告—』, 熊本県教育委員会, 69-71 頁
- 「千葉県富山町恩田原遺跡出土銅印「王泉私印」」, 『恩田原遺跡』, 山武考古学研究所, 20-21 頁
- 「いわき市大猿田遺跡出土木簡」, 『常磐自動車道遺跡調査報告 11 大猿田遺跡 (2 次調査)』, 福島県教育委員会・福島県文化センター, 1-15 頁
- 1999年
- 「秋田城跡第 72 次調査出土漆紙文書について」, 『秋田城跡—秋田城跡調査概報 平成 10 年度』, 秋田市教育委員会, (1)-(19)頁
- 「払田柵跡第 100 次調査出土漆紙文書」, 『秋田県文化財調査報告書 第 289 集 払田柵跡 II』, 秋田県教育委員会, 53-59 頁(別編 2)
- 「会津若松市矢玉遺跡木簡」, 『若松北部地区県営ほ場整備事業発掘調査報告書 I 矢玉遺跡』, 会津若松市教育委員会, 1-8 頁
- 「島根県玉湯町蛇喰遺跡ヘラ書須恵器」, 『蛇喰遺跡』, 玉湯町教育委員会, 145-149 頁
-

「伊興遺跡 B-d-8 区出土の木簡および木札」, 『伊興遺跡Ⅱ』, 足立区伊興遺跡調査会, 227-236 頁
「山形県鶴岡市山田遺跡出土木簡」(共同執筆/三上喜孝), 『市内遺跡分布調査報告書—山田遺跡 平成10年度発掘調査概報』, 鶴岡市教育委員会, 41-50 頁

2000年

「井上薬師堂遺跡出土木簡の再検討」(共同執筆/清武雄二ほか), 『上岩田遺跡調査概報』, 小郡市教育委員会, 62-76 頁
「秋田城跡第75次調査出土漆紙文書」, 『秋田城跡—平成11年度秋田城跡調査概報』, 秋田市教育委員会, (1)-(13) 頁
「会津若松市矢玉遺跡出土の稲の「種子札」」, 『若松北部県営ほ場整備発掘調査報告書Ⅱ』, 会津若松市教育委員会, 1-16 頁
「前六供遺跡三号井戸出土木簡」(共同執筆/三上喜孝・新井重行), 『前六供遺跡・後谷遺跡・西田遺跡』, 群馬県新田町教育委員会, 97-98 頁
「岩手県平泉町柳之御所遺跡出土銅印」, 『柳之御所遺跡第50次発掘調査概報』, 岩手県教育委員会, 71-80 頁
「設立25周年記念事業 平成11年度出土遺物展フォーラム『今, 古代史がおもしろい—出土文字から探る房総の古代—』」, 『研究連絡誌』57, 千葉県文化財センター, 1-40 頁
「福島・江平遺跡」, (共同執筆/福田秀生), 『木簡研究』22, 木簡学会, 126-128 頁
「釈文の訂正と追加 (三) 福岡・井上薬師堂遺跡 (第七号)」, 『木簡研究』22, 木簡学会, 275-278 頁

2001年

「兵庫県氷上町 市辺遺跡出土木簡」, 『平成11年度年報』, 兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所, 1-14 頁
「古志田東遺跡出土の木簡」, 『米沢市埋蔵文化財調査報告書第73集—古志田東遺跡』 米沢市教育委員会, 225-258 頁
「木簡・墨書土器」(共同執筆/三上喜孝), 『いわき市埋蔵文化財調査報告 第75冊 荒田目条里遺跡』, いわき市教育委員会, 341-396 頁
「1号木甲附属棒状留具の文字」, 『熊本県文化財調査報告第200集 柳町遺跡Ⅰ』, 熊本県教育委員会, 234-240 頁
「青森市野木遺跡出土の「夫」墨書土器」, 『野木遺跡発掘調査報告書Ⅱ』, 青森市教育委員会, 617(1)-629(13) 頁

2002年

「福島県玉川村江平遺跡出土の木簡」, 『福島県文化財調査報告書394集 福島空港・あぶくま南道路遺跡発掘調査報告12』, 福島県文化センター, 1-13 頁
「兵庫県朝来郡山東町 柴遺跡出土木簡」, 『平成12年度年報』, 兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所, 1-8 頁
「武田西塙遺跡出土墨書土器について」「武田西塙遺跡出土墨書土器釈文一覧」(共同執筆/石崎高臣), 『武田西塙遺跡 奈良・平安時代編』, ひたちなか市教育委員会, 403-406 頁
「長野県根塚遺跡出土刻書土器」, 『根塚遺跡』, 長野県木島平村教育委員会, 49-50 頁

2003年

「第26-29次調査(C区)出土木簡について」(共同執筆/廣瀬真理子), 『市川橋遺跡—城南土地区画整理事業に係る発掘調査報告書Ⅱ—』, 多賀城市教育委員会, 1-33 頁
「箱根田遺跡出土の木簡」, 『箱根田遺跡』, 三島市教育委員会, 144(4)-147(1) 頁

2004年

「堅田B遺跡出土木簡(巻数板)の概要と意義」(共同執筆/三上喜孝・清武雄二・相沢央), 『堅田B遺跡Ⅱ』, 金沢市埋蔵文化財センター, 165-178 頁

2005年

「袖ヶ浦市上大城遺跡出土の墨書土器」, 『袖ヶ浦椎の森工業団地内埋蔵文化財調査報告書(第2分冊) 上大城遺跡Ⅱ』, 君津郡市文化財センター, 424-426 頁

2006年

「角田台遺跡出土の多文字墨書土器」(共同執筆/佐々田悠), 『千葉ニュータウン埋蔵文化財調査報告書

-
- 18—本埜村角田台遺跡（弥生時代以降）—, 千葉県教育振興財団, 181-184 頁
 「SK10 出土木簡」, 『南新保北遺跡』, 金沢市埋蔵文化財センター, 47-48 頁
 「社宮寺遺跡出土のイ号漆紙文書」, 『社宮司遺跡』, 長野県埋蔵文化財センター, 642-643 頁
 「畝田西遺跡群出土文字資料と古代港湾都市」, 『畝田西遺跡群』Ⅳ, 石川県教育委員会, 1-32 頁
 「畝田ナベタ遺跡出土木簡」, 『畝田東遺跡群』Ⅳ, 石川県教育委員会, 1-4 頁
- 2008年
 「古代日本の交通と甲斐国」, 『古代の交易と道 研究報告書』, 山梨県立博物館, 8-14 頁
- 2009年
 「兵庫県朝来市山東町 柴遺跡出土木簡」, 『朝来市所在 柴遺跡』, 兵庫県教育委員会, 67-81 頁
- 2010年
 「山王遺跡第六六次調査出土の漆紙文書」(共同執筆/武井紀子・鈴木琢郎), 『山王遺跡—第 66・68 次発掘調査報告書—』 附章二, 多賀城市教育委員会, 1-14 頁
 「伊勢堰遺跡出土木簡について」(共同執筆/武井紀子), 『伊勢堰遺跡第 3・4 地点』, 三島市教育委員会, 46-49 頁
 「石川県金沢市金石本町遺跡出土木簡について」(共同執筆/武井紀子・大西顕), 『石川県埋蔵文化財情報』 23, 石川県埋蔵文化財センター, (5)-(10) 頁
 「新潟県村上市西部遺跡出土の漆紙文書」, 『西部遺跡』Ⅱ・附編, 新潟県教育委員会・新潟県埋蔵文化財調査事業団, 28-41 頁
- 2011年
 「島根県 史跡出雲国府跡出土 漆紙文書」(共同執筆/武井紀子), 『史跡出雲国府跡』, 島根県教育委員会, 70-74 頁
- 2012年
 「出土文字資料からみた加茂遺跡の歴史的意義」, 『加茂遺跡 詳細分布調査(第 1-21 調査区) 発掘調査報告書』, 津幡町教育委員会, 157-170 頁
- 2013年
 「神奈川県茅ヶ崎市 居村 B 遺跡出土木簡」(共同執筆/武井紀子), 『本村 居村 A 遺跡(第 6 次) 本村 居村 B 遺跡(第 4 次)』, 茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

Ⅳ 新聞

1. 「多賀城跡出土古代文書の意義」, 『河北新報』, 1978年6月15日
 2. 「古代の暦一岩手・胆沢城出土の漆紙文書」, 『毎日新聞』, 1982年1月7日
 3. 「ドラマチックな復権・「多賀城碑—その謎を解く—」 刊行にあたって」, 『河北新報』(夕刊), 1989年6月19日
 4. 「古代史開く木簡・八幡林遺跡の語るもの」下, 『新潟日報』, 1991年2月13日
 5. 「開発が災害招いた古代の日本」, 『朝日新聞』(夕刊), 1991年11月11日
 6. 「象潟発・古代の便り」, 『朝日新聞』(夕刊), 1993年4月16日
 7. 「土に眠る文字のメッセージ」, 『山梨日日新聞』, 1993年6月12日
 8. 「宮城論壇 北上川は東北文化史の道」, 『朝日新聞』(宮城版), 1993年8月30日
 9. 「一本の木札が語るもの—更埴市屋代遺跡群出土の木簡—」, 『信濃毎日新聞』, 1994年7月28日
 10. 「浮かぶ古代国家の姿—歴史館で展示の「信濃團」木簡—」, 『信濃毎日新聞』, 1996年10月31日
 11. 「木簡は語る—地方豪族の絶大な権力—」, 『讀賣新聞』, 1996年11月7日
 12. 「福岡・三雲遺跡群にみる日本人の文字との出あい」, 『朝日新聞』(夕刊), 1998年3月9日
 13. 「博物館を考える3・多様な自然」, 『山梨日日新聞』, 1998年5月22日
 14. 「出土文字から地名を読む」上・下, 『中日新聞』(夕刊), 1998年5月28・29日
 15. 「7世紀の信濃 浮き彫りに—5日からの木簡学会に寄せて—」, 『信濃毎日新聞』, 1998年6月1日
 16. 「日本における文字の源流」, 『山梨日日新聞』, 1998年10月2日
-

17. 「高度に管理された古代の稲作—奈良・平安期木簡に記された品種名—」, 『毎日新聞』(夕刊), 1999年8月20日
18. 「出土文字を読む1 塗り替わる古代社会像—木簡の長さは権力格差を反映—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年10月8日
19. 「出土文字を読む2 使用済み木簡は悪用防止に破却—郡司の田植えに農民召し出す—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年10月15日
20. 「出土文字を読む3 二重帳簿を示した木簡—郡の役人が税をピンはね—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年10月22日
21. 「出土文字を読む4 出納事務は木簡で処理—差し替え自由な便利さ生かす—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年10月29日
22. 「出土文字を読む5 広場に掲げて人々を教育?—『論語』木簡の使用法—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年11月5日
23. 「出土文字を読む6 役所の西北隅に祭られた「内神」—後の屋敷神のルーツに—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年11月19日
24. 「出土文字を読む7 右大臣昇進の贈り物は名馬—国司館跡からの「領収書」で判別—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年11月19日
25. 「出土文字を読む8 古代にも多数の品種の稲を栽培—木簡で初めて判明—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年11月26日
26. 「出土文字を読む9 稲の品種ごとに名札の形変える—種子の取り違えを二重に防止—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年12月3日
27. 「出土文字を読む10 地方社会の変化を鮮明に木簡が証明—古代末期に新興豪族層が台頭—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年12月10日
28. 「出土文字を読む11 古代東北の災害記した漆紙文書—一家6人, 相次いで死亡す—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年12月17日
29. 「出土文字を読む12 坂上田村麻呂も暦の吉凶で行動—胆沢城跡の漆紙文書で判明—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年12月24日
30. 「出土文字を読む13 1200年前の手紙で判明—下級役人の実直な仕事ぶり—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 1999年12月31日
31. 「出土文字を読む14 「墨書土器」に込められた願い—地獄のさたもてなし次第—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 2000年1月14日
32. 「出土文字を読む15 天帝への告げ口防ぐ, 中国の信仰が日本に—竈神を土器で封じ込め—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 2000年1月21日
33. 「出土文字を読む16 魔よけのマーク, 韓国から伝来か—海女の道具がヒントに—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 2000年1月28日
34. 「出土文字を読む17 古代日本の村々で流行, 独特の漢字「則天文字」—魔術的魅力に引かれる—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 2000年2月4日
35. 「出土文字を読む18 1200年も前から伝わる小字名も—墨書土器で起源が判明—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 2000年2月11日
36. 「出土文字を読む19 古代の通信手段「烽」—墨書土器で遺跡を確認—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 2000年2月18日
37. 「出土文字を読む20 公文書にも誤字が—古代地方社会の識字率の低さを示す—」, 時事通信社配信『静岡新聞』『京都新聞』『神戸新聞』『陸奥新報』ほか, 2000年2月25日
38. 「行政支配の原形を見た—石川・加茂遺跡から「お連れ書き」発見—」, 『朝日新聞』, 2000年9月29日
39. 「平安「公文書」発見の石川・加茂遺跡—歴史的景観の復元を—」, 『朝日新聞』(夕刊), 2000年10月21日
40. 「文字から古代に迫る—「古代日本 文字のある風景—金印から正倉院文書まで」展」, 『朝日新聞』(夕刊), 2002年3月14日

-
41. 「漢字文化のあり方考える—『古代日本 文字のある風景』展から」, 『しんぶん赤旗』, 2002年3月31日
 42. 「文字から古代に迫る—『古代日本 文字のある風景—金印から正倉院文書まで』展 13日から」, 『朝日新聞』(夕刊), 2002年7月11日
 43. 「21世紀の古代史学1 環境歴史学の提唱④ 自然と人との関係問い直す」, 『山陰中央新報』, 2003年2月7日
 44. 「21世紀の古代史学2 環境歴史学の提唱⑤ 地域財産 現代に生かす」, 『山陰中央新報』, 2003年2月14日
 45. 「善光寺平 災害と開発—地下からのメッセージ5」, 『信濃毎日新聞』, 2003年3月14日
 46. 「コラム・こころの風景—米作国家のはじまり」, 『朝日新聞』(夕刊), 2005年6月20日
 47. 「コラム・こころの風景—帰らなかった防人」, 『朝日新聞』(夕刊), 2005年6月21日
 48. 「コラム・こころの風景—34年前の「問い」」, 『朝日新聞』(夕刊), 2005年6月22日
 49. 「兵役逃れで九州定着か—佐賀・中原遺跡 防人の木簡—」, 『讀賣新聞』, 2005年7月5日
 50. 「木簡が語る甲斐の防人像」, 『山梨日日新聞』, 2005年7月26日
 51. 「月曜インタビュー—自然科学と共同し新しい歴史学 出土文字資料に胸を躍らせて—」, 『しんぶん赤旗』, 2005年12月5日
 52. 「「甲斐」国号の語源」, 『山梨日日新聞』, 2006年1月12日
 53. 「交遊抄—再会を刻んだ印」, 『日本経済新聞』, 2008年2月2日
 54. 「私のいる風景—地下研究室 赤外線の下・古代との対話」, 『讀賣新聞』, 2008年5月17日
 55. 「博物館の意義 平川南さんに聞く」, 『日本経済新聞』, 2008年5月22日
 56. 「日本古代史を現代につなぐ」, 『山梨日日新聞』, 2008年7月19日
 57. 「やまなし食の風土誌—山国の食文化」, 『山梨日日新聞』, 2008年10月30日
 58. 「古代史の窓—甲斐の国は貢馬の国」上・下, 『山梨日日新聞』, 2009年7月1・2日
 59. 「古代史の窓—栗原, 等力の実像」上・下, 『山梨日日新聞』, 2009年8月6・7日
 60. 「古代史の窓—東西で違う国名決定の原理」, 『山梨日日新聞』, 2009年9月22日
 61. 「古代史の窓—甲斐国への交通証木簡」, 『山梨日日新聞』, 2009年9月23日
 62. 「古代史の窓—西の「防人」に甲斐国出身者」, 『山梨日日新聞』, 2009年10月27日
 63. 「古代史の窓—蝦夷に備えた東国の「鎮兵」」, 『山梨日日新聞』, 2009年10月28日
 64. 「古代史の窓—鹿革や絹織物を貢進した甲斐国」, 『山梨日日新聞』, 2009年12月12日
 65. 「古代史の窓—都と甲斐結んだ官道」, 『山梨日日新聞』, 2010年1月27日
 66. 「古代史の窓—水上交通要衝の地」, 『山梨日日新聞』, 2010年1月28日
 67. 「古代史の窓—地方支配・二つのシンボル」上・下, 『山梨日日新聞』, 2010年2月25・26日
 68. 「古代史の窓—山梨の郡④ 古代山梨郡の姿」, 『山梨日日新聞』, 2010年4月29日
 69. 「古代史の窓—山梨の郡⑤ 浮かぶ都留郡の姿」, 『山梨日日新聞』, 2010年4月30日
 70. 「古代史の窓—西大寺出土の木簡」上・下, 『山梨日日新聞』, 2010年5月28・29日
 71. 「古代史の窓—甲斐国の塩どこから」上・下, 『山梨日日新聞』, 2010年6月30日・7月1日
 72. 「古代史の窓—古代稲の品種」上・下, 『山梨日日新聞』, 2010年7月30・31日
 73. 「古代史の窓—文書を遺す漆の力」上・下, 『山梨日日新聞』, 2010年8月31日・9月1日
 74. 「国府多賀城の実像 史跡調査50年 5 漆紙文書の発見」, 『河北新報』, 2010年9月22日
 75. 「国府多賀城の実像 史跡調査50年 6 多賀城碑の復権」, 『河北新報』, 2010年9月29日
 76. 「古代史の窓—墨書土器の世界」上・下, 『山梨日日新聞』, 2010年9月30日・10月1日
 77. 「古代史の窓—文字に見る労働の姿」上・下, 『山梨日日新聞』, 2010年10月30日・11月2日
 78. 「古代史の窓—富士山を仰ぐ壺たち」上・中・下, 『山梨日日新聞』, 2011年1月20・21・22日
 79. 「多胡郡健郡1300年—多胡碑の輝き④」, 『上毛新聞』, 2011年2月5日
 80. 「多胡郡健郡1300年—多胡碑の輝き⑤」, 『上毛新聞』, 2011年2月12日
 81. 「古代史の窓—自然災害からの復興」, 『山梨日日新聞』, 2011年3月26日
 82. 「古代史の窓—人も神も行き交う駅」上・下, 『山梨日日新聞』, 2011年4月29・30日
 83. 「古代史の窓—国家の財政運用」上・下, 『山梨日日新聞』, 2011年6月3・4日
 84. 「古代史の窓—貴重な財産 馬」上・下, 『山梨日日新聞』, 2011年6月30日・7月1日
-

85. 「古代史の窓—甲斐の黒駒」上・下, 『山梨日日新聞』, 2011年7月29・30日
86. 「古代史の窓—万福寺と秦河勝」上・下, 『山梨日日新聞』, 2011年8月26・27日
87. 「古代史の窓—贈答の「ルーツ」」, 『山梨日日新聞』, 2011年9月29日
88. 「古代史の窓—米と「雑穀」」上・下, 『山梨日日新聞』, 2011年10月28・29日
89. 「古代史の窓—渡来人と俘囚」上・下, 『山梨日日新聞』, 2011年11月30日・12月1日
90. 「古代史の窓—道祖神信仰のルーツ」上・中・下, 『山梨日日新聞』, 2012年1月17・18・19日
91. 「古代史の窓—水の神・龍王信仰」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年2月29日・3月1日
92. 「古代史の窓—内神から屋敷神へ」, 『山梨日日新聞』, 2012年3月31日
93. 「古代史の窓—一年始めの神事」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年4月28日・5月1日
94. 「古代史の窓—竈にまつられた神」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年5月31日・6月1日
95. 「古代史の窓—諸国で作られた戸籍」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年6月29・30日
96. 「古代史の窓—都への出仕」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年7月26・27日
97. 「大宰府で出土 最古「戸籍」」, 『讀賣新聞』, 2012年8月1日
98. 「古代史の窓—医薬つかさどる役人」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年8月30・31日
99. 「古代史の窓—木簡の長さに見る権威」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年9月27・28日
100. 「古代史の窓—則天文字とは」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年10月31日・11月1日
101. 「古代史の窓—「急急如律令」の呪句」上・下, 『山梨日日新聞』, 2012年11月29・30日
102. 「古代史の窓—酒折宮の謎」上・中・下, 『山梨日日新聞』, 2013年1月30・31日・2月1日
103. 「古代史の窓—魔よけ符号の広がり」上・下, 『山梨日日新聞』, 2013年2月27・28日
104. 「古代史の窓—県内に浸透した呪句・符号」, 『山梨日日新聞』, 2013年3月29日
105. 「古代史の窓—東国とは」上・下, 『山梨日日新聞』, 2013年4月25・26日
106. 「古代史の窓—坂東の要「武蔵」」上・下, 『山梨日日新聞』, 2013年5月30・31日
107. 「古代史の窓—国府は古代都市か」上・下, 『山梨日日新聞』, 2013年7月4・5日
108. 「古代史の窓—国司, 任国に赴く」上・下, 『山梨日日新聞』, 2013年8月29・30日
109. 「古代史の窓—甲斐路の発見」, 『山梨日日新聞』, 2013年9月26日
110. 「古代史の窓—暦の仕組み」上・下, 『山梨日日新聞』, 2013年10月31日・11月1日
111. 「古代史の窓—日本を刻む」上・下, 『山梨日日新聞』, 2013年12月5・6日
112. 「古代史の窓—「風土記」の風景」上・下, 『山梨日日新聞』, 2014年1月23・24日
113. 「古代史の窓—馬の戸籍」上・下, 『山梨日日新聞』, 2014年2月26・27日

V 情報誌・その他

1. 「多賀城碑の語るもの」, 『日曜随筆』243, 日曜随筆社, 14-18頁, 1976年6月
2. 「発掘以前の多賀城」, 『東北歴史資料館報』9, 東北歴史資料館, 2-3頁, 1977年12月
3. 「多賀城漆紙文書について」, 『宮城の文化財』43, 宮城県文化財保護協会, 2-8頁, 1980年3月
4. 「名取新宮寺一切経」, 『宮城の文化財』46, 宮城県文化財保護協会, 2-8頁, 1981年3月
5. 「掘り出された東北の古代文書」, 『家庭と電気』1981-11 (通巻 303), 東北電力株式会社広報室, 1-6頁, 1981年11月
6. 「習書の問いかけ」, 『歴博』5, 国立歴史民俗博物館, 4-5頁, 1984年6月
7. 「漆のゝふた紙、一工房を訪ねて」, 『歴博』9, 国立歴史民俗博物館, 12-13頁, 1985年2月
8. 「多賀城跡の一木簡から」, 『群馬県史しおり』資料編4 文献, 群馬県教育委員会事務局部長室県史編さん室, 1-6頁, 1985年3月
9. 「(歴博講演会より) 発掘された文書—漆紙(うるしがみ)は語る—」, 『歴博』13, 国立歴史民俗博物館, 13頁, 1985年10月
10. 「企画展 正倉院文書展」, 『歴博』14, 国立歴史民俗博物館, 10-11頁, 1985年12月
11. 「井上先生と私」, 『井上光貞著作集 月報11』, 岩波書店, 11-13頁, 1986年4月
12. 「牡鹿地方と“海の道”」, 『市報いしのまき』, 石巻市, 1986年10月

-
13. 「漆紙文書発見顛末記」, 『日本の古代 月報6』, 中央公論社, 1986年11月
 14. 「律令国家 (その二) —正倉院文書の世界—」, 『歴博』 21, 国立歴史民俗博物館, 6-7頁, 1987年2月
 15. 「辺境と軍事—桓武朝の東北政策—」 「コラム 蝦夷・隼人」, 『週刊朝日百科 日本の歴史』 56 (通巻584), 朝日新聞社, 10-15頁・14頁, 1987年5月
 16. 「公営高利貸」 (表紙裏コラム), 『歴博』 24, 国立歴史民俗博物館, 1987年8月
 17. 「特別公開「王賜」銘鉄剣—市原市稲荷台一号墳出土—」, 『歴博』 27, 国立歴史民俗博物館, 11頁, 1988年2月
 18. 「古代の村と文字」, 『歴博』 28, 国立歴史民俗博物館, 13頁, 1988年4月
 19. 「則天文字を追う」, 『歴博』 34, 国立歴史民俗博物館, 10-11頁, 1989年4月
 20. 「無名の証言」 (巻頭エッセイ), 『歴博』 37, 国立歴史民俗博物館, 1頁, 1989年10月
 21. 「漆紙文書—“地下の正倉院”文書—」, 『週刊朝日百科 日本の歴史別冊 歴史の読み方 4 文献史料を読む・古代』, 朝日新聞社, 36-37頁, 1990年1月
 22. 「歴の復原—出土文字資料調査から—」, 『歴博』 44, 国立歴史民俗博物館, 6-7頁, 1990年12月
 23. 「科学のひろば 国立歴史民俗博物館 (3) なぜ古代の文書が解読できるの?」, 『文部時報』 1370, ぎょうせい, 74-75頁, 1991年3月
 24. 「竈神・歳神—出土資料の語るもの—」, 『歴博』 46, 国立歴史民俗博物館, 4-5頁, 1991年4月
 25. 「戸水C遺跡漆紙文書」, 『石川県立埋蔵文化財センター所報』 35, 2頁, 石川県立埋蔵文化財センター, 1991年6月
 26. 「木簡と漆紙文書」, 『日本歴史「古文書」総覧』 (『歴史読本特別増刊—事典シリーズ14』), 新人物往来社, 140-143頁, 1992年4月
 27. 「偽物・真物」, 『歴博』 64, 国立歴史民俗博物館, 2-3頁, 1994年4月
 28. 「地下の正倉院文書—漆紙の威力—」, 『歴博』 66, 国立歴史民俗博物館, 14頁, 1994年8月
 29. 「古代印の編年を目指して」, 『全国埋文協会報』 41, 全国埋蔵文化財法人連絡協議会事務局, 1-3頁, 1995年
 30. 「漆紙文書が語る古代人の日常生活」, 『日立』 57-4, 日立評論社, 10-11頁, 1995年4月
 31. 「地下の文字から古代地方社会を読む」, 『れきし』 51, NHK学園, 2-5頁, 1995年9月
 32. 「屋敷神のルーツ—歴博の研究—」, 『歴史書通信』 103, 歴史書懇話会, 34-35頁, 1995年10月
 33. 「環境と歴史学」, 『歴博』 75, 国立歴史民俗博物館, 6-9頁, 1996年2月
 34. 「(第16回埋蔵文化財特別講演要旨) 古代地方社会の扉を開く—発掘された文字から—」, 『石川県立埋蔵文化財センター所報』 49, 石川県立埋蔵文化財センター, 6頁, 1996年3月
 35. 「コラム 古代の情報伝達—烽 (とぶひ) —遺跡の発見」, 『歴博』 78, 国立歴史民俗博物館, 16頁, 1996年9月
 36. 「対談 列島における古代文字社会の出現」 (西谷正), 『歴博』 79, 国立歴史民俗博物館, 20-25頁, 1996年11月
 37. 「[国神] —古典と墨書土器」, 『新編日本古典文学全集1古事記 月報37』, 小学館, 6-8頁, 1997年5月
 38. 「対談 古代における言葉と文字」 (奥村悦三), 『歴博』 81, 国立歴史民俗博物館, 18-23頁, 1997年3月
 39. 「文字の発掘—地下からの豊かなメッセージ—」, 『AERA Mook 考古学がわかる。』, 朝日新聞社, 116-118頁, 1997年6月
 40. 「エッセイ 新教養講座 東国の玄関口—房総の古代から—」, 『千葉教育』 474, 千葉県総合教育センター, 1998年6月
 41. 「今, よみがえる多賀城碑」, 『ウィズ・ユー』 33, 塩釜信用金庫企画部, 2-5頁, 1998年10月
 42. 「よみがえる風景⑩ 墨書土器から“古代の村”を読む」, 『歴博』 91, 国立歴史民俗博物館, 30-31頁, 1998年11月
 43. 「古代地名を伝える出土文字—『日本古代地名大辞典』刊行によせて—」, 『本の旅人』 1998-2, 角川書店, 36-37頁, 1998年2月
 44. 「文字を刻む」 (口絵エッセイ), 『婦人之友』 93-1, 婦人之友社, 6-7頁, 1999年1月
-

-
45. 「文字と絵が書かれた土器」, 『ふるさと歴史読本 原始・古代の佐倉』, 佐倉市, 60-61頁, 1999年3月
 46. 「コラム 一〇〇〇年前の休暇届」, 『歴博』 97, 国立歴史民俗博物館, 8頁, 1999年11月
 47. 「多視点から新しい歴史像を描く」, 『歴博』 101, 国立歴史民俗博物館, 6-10頁, 2001年7月
 48. 「自著紹介『古代日本の文字世界』」, 『歴博』 105, 国立歴史民俗博物館, 2001年3月
 49. 「歴史への招待状『古代日本 文字のある風景—金印から正倉院文書まで—』」, 『歴博』 111, 国立歴史民俗博物館, 26-27頁, 2002年3月
 50. 「古代日本の文字社会」, 『文化遺産の世界5 特集: 古代日本の文字』, 国際航業株式会社アドバンス事業本部文化財事業部, 13-17頁, 2002年5月
 51. 「発掘された村の印」, 『白い国の詩』 555, 東北電力株式会社地域交流部, 4-11頁, 2002年11月
 52. 「歴博創設20周年記念展示『古代日本 文字のある風景—金印から正倉院文書まで—』」, 『国立歴史民俗博物館 友の会ニュース』 100, 歴史民俗博物館振興会, 8-9頁, 2002年3月
 53. 「古代の印波と香取の海」, 『風媒花』 16, 佐倉市教育委員会, 3-6頁, 2003年3月
 54. 「7世紀の地方社会—木簡が語る」, 『週刊朝日百科41 日本の歴史』 通巻573, 朝日新聞社, 28頁, 2003年3月
 55. 事典項目「墨書土器の研究」「よみがえる古代文書—漆に封じ込められた日本社会」「漆紙文書の研究」「古代地方木簡の研究」, 『日本史文献事典』, 弘文堂, 2003年12月
 56. 「今, 古代日本の文字文化を問い直す」, 『本郷』 55, 吉川弘文館, 5-7頁, 2005年1月
 57. 「発掘が明らかにした多賀城碑の真偽」, 『朝日ビジュアルシリーズ5 週刊司馬遼太郎 街道をゆく』 32, 朝日新聞社, 30-31頁, 2005年9月
 58. 「京成さんにひとこと—京成沿線にある江戸と下総を結ぶ歴史と文化をもっと活用していきましょう」(インタビュー), 『KEISEI ONE』 6, 京成電鉄(株) 経営統括部広報担当, 2006年10月1日
 59. 「能登半島の旅」(エッセイ), 『わたしの旅100選』, 文化庁, 104頁, 2006年8月
 60. 「The Future of History—歴博のめざすもの—」, 『国立歴史民俗博物館 友の会ニュース』 131, 歴史民俗博物館振興会, 1頁, 2007年5月
 61. 「シリーズ・館長への提言3」, 『Museum news』 76, 川崎市民ミュージアム, 1-4頁, 2007年12月
 62. 「韓国の出土情報」, 『墨』 191, 芸術新聞社, 28-29頁, 2008年4月
 63. 「新「古代東国論」」, 友の会主催第2回館長講演会講演録『国立歴史民俗博物館 友の会ニュース』 138, 1-2頁, 歴史民俗博物館振興会, 2008年8月
 64. 「歴博のパートナー“友の会”」, 『国立歴史民俗博物館 友の会25年の歩み 1983→2008』, 歴史民俗博物館振興会, 7頁, 2009年3月
 65. 「古代史対談—古代史の夢とたのしみ」(荻谷俊介・大桃美代子), 『サライ』 11, 小学館, 68-71頁, 2009年10月
 66. 「基調講演 博物館と地域社会—平成21年度千葉県博物館協会研修会シンポジウム『美術館・博物館が地域にできること』記録集」, 『Museum ちば』 40・41, 千葉県博物館協会, 6-19頁, 2010年3月
 67. 「館長インタビュー 国立歴史民俗博物館 日本の歴史・文化の理解を深めてもらう 平川南館長」, 『文部科学教育通信』 249, ジアース教育新社, 4-9頁, 2010年8月
 68. 「出土文字資料を追う—古代国家の実像を求めて—」, 『歴博』 170, 26-27頁, 国立歴史民俗博物館, 2012年1月
 69. 「虎尾俊哉先生を偲んで」, 『延喜式研究』 28—虎尾俊哉会長追悼号—, 延喜式研究会, 112-114頁, 2012年3月
 70. 「歴博三〇周年を迎えて」, 『歴博』 172, 国立歴史民俗博物館, 26-27頁, 2012年5月
 71. 「東日本大震災への取り組み」, 『歴博』 175, 国立歴史民俗博物館, 24-25頁, 2012年11月
 72. 「“人と自然のかかわりの歴史”を問う」, 『本郷』 103, 吉川弘文館, 5-7頁, 2013年1月
 73. 「古代出土文字の画像の公開を目指して」(共同執筆/武井紀子), 『歴博』 180, 国立歴史民俗博物館, 20-23頁, 2013年9月
-

VI 学会発表・講演・報告・シンポジウム等

1970年代

- 「多賀城の調査」(共同発表/岡田茂弘), 東北史学会, 1970年7月, 東北大学
「陸奥・出羽官衙財政について」, 東北史学会, 1973年11月, 東北大学
「多賀城跡発掘調査の現状」, 第2回古代史サマーセミナー, 1974年8月22日, 奈良県吉野町桜本坊
「多賀城跡出土の木簡」「払田柵跡・胆沢城跡・落合遺跡跡出土の木簡」, 第1回木簡研究集会, 1976年1月13・14日, 奈良国立文化財研究所平城宮跡資料館
「東北地方出土の木簡—払田柵跡・胆沢城跡—」, 第3回木簡研究集会, 1977年12月13・14日, 奈良国立文化財研究所平城宮跡資料館
「多賀城発見の古代文書について」, 第6回古代史サマーセミナー, 1978年8月24日, 東北歴史資料館
「多賀城跡出土の古代文書について」, 第76回史学会大会公開講演, 1978年11月11日, 東京大学
「秋田城跡出土の木簡」(共同発表/小松正夫), 第1回木簡学会予備会, 1979年4月1日, 奈良国立文化財研究所平城宮跡資料館
「文献史学からみた8・9世紀の東北」, 日本考古学協会 昭和54年度大会・シンポジウム『8・9世紀の東北』, 1979年10月14日, 岩手県北上市
「山形県川西町・道伝遺跡出土の木簡について」, 第1回木簡学会, 1979年12月2日, 奈良国立文化財研究所平城宮跡資料館

1980年

- 「なぞの多賀城碑(その1)」, 東北歴史資料館開放講座, 1980年7月29日, 東北歴史資料館
「おくの細道」, 東北大学開放講座, 1980年11月7日, 東北大学
「王朝時代の多賀城」(座談会/原田隆吉, 桑原滋郎), 東北放送ラジオ放送

1981年

- 「多賀城碑の発掘について」, 仙台新火力発電所開所10周年記念講演, 1981年8月21日, 仙台新火力発電所開所
「8・9世紀の東北」, 奥羽史談会講演, 1981年8月23日, 東北歴史資料館
「古代における東北の城柵について」, 日本史研究会個別報告, 1981年11月14日, 龍谷大学深草学舎

1982年

- 「発掘された古代の文字」, 岩手県水沢市歴史講座講演, 1982年2月10日, 水沢市図書館
「ふるさと歴史紀行—多賀城碑」, NHK教育テレビ午後8時放映, 1982年4月4日

1983年

- 「古代の文字を読む」, 千葉県文化センター職員研修会講演, 1983年6月15日, 千葉県立美術館
「七・八世紀における陸奥・出羽両国と東国—出土資料を中心として」, 古代史サマーセミナー研究発表, 1983年8月2日, 群馬県渋川市伊香保温泉

1984年

- 「漆紙は語る」, 朝日カルチャーセンター・新宿講座, 1984年8月29日, 新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター
「東北の動乱」, 朝日カルチャーセンター・新宿講座「日本史再考—古代(1)」, 1984年9月19日, 新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター
「考古学と文献史学」, 神奈川県埋蔵文化財センター・かながわ県民アカデミー, 1984年12月21日, 神奈川県埋蔵文化財センター

1985年

- 朝日カルチャーセンター・新宿講座「東北の古代史」(全10回), 新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター
第1回「『日本書紀』の中の「蝦夷」」, 1985年1月24日
第2回「ミネルヴァ論争とその後」, 1985年1月31日
第3回「仙台郡山遺跡の発見」, 1985年2月7日
-

-
- 第4回「東国の人々の足跡を追う」, 1985年2月14日
第5回「井戸と木簡—出羽国建つ」, 1985年2月21日
第6回「多賀城なる」, 1985年3月7日
第7回「砦麻呂反旗を翻す」, 1985年3月14日
第8・9回「田村麻呂と「征夷」・「元慶の乱と出羽国の騷擾」, 1985年4月4日
第10回「『陸奥話記』の世界」, 1985年4月11日

「発掘された文書—漆紙（うるしがみ）は語る」, 歴博講演会, 1985年7月6日, 国立歴史民俗博物館
朝日カルチャーセンター・新宿講座（全5回）, 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター

- 第1回「多賀城碑と『つばのいしぶみ』」, 1985年7月18日
第2回「南部壺碑説」, 1985年7月25日
第3回「真偽論争」, 1985年8月8日
第4回「碑のわりつけ・書体」, 1985年8月22日
第5回「藤原仲麻呂政権と東北情勢」, 1985年8月29日

「県内出土の文字資料からみた古代の房総」, 千葉県文化財教養講座, 1985年7月28日, 千葉県立美術館
講堂

1986年

朝日カルチャーセンター・新宿講座「掘り出された古代の東国」（全10回）, 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター

- 第1回「評家の成立」, 1986年4月10日
第2回「郡の設立と金石文」, 1986年4月17日
第3回「国府の造営」, 1986年4月24日
第4回「律令村落の形成①」, 1986年5月15日
第5回「律令村落の形成②」, 1986年5月29日
第6回「律令村落の形成③」, 1986年6月12日
第7回「国分寺の造営」, 1986年6月19日
第8回「吉原山王遺跡」, 1986年6月26日
第9回「鹿島神宮・神野向遺跡」, 1986年7月3日
第10回「鹿の子C遺跡・まとめ」, 1986年7月10日

1987年

「古代東国と出土文字資料」, 千葉歴史学会記念講演, 1987年1月17日, 千葉京成ホテル
「掘り出された古代の紙」, 市立市川歴史博物館講演, 1987年5月24日, 市川歴史博物館
「古代の村と文字」, 朝日カルチャーセンター・新宿講座（全7回）, 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター

- 第1回「文字の伝来と普及」, 1987年7月16日
第2回「役所のくらしと文字」, 1987年7月23日
第3回「戸籍・計帳」, 1987年8月6日
第4回「文字の表記—刻む—」, 1987年8月20日
第5回「土器に墨書すること」, 1987年8月27日
第6回「糸紡ぎの道具に記された文字」, 1987年9月3日
第7回「村のしくみと文字」, 1987年9月10日

「下野国府跡は語る」, 栃木市民大学講演, 1987年8月21日, 栃木市文化会館大ホール

「出土文字資料の調査方法」, 歴史民俗資料館等専門職員研修会講義, 1987年11月3日, 国立歴史民俗博物館

1988年

「古代の村と文字」, 歴博講演会, 1988年2月6日, 国立歴史民俗博物館

「古代東国への光—秘められた王賜銘鉄剣—」, 千葉日報座談会（滝口宏・大塚初重・白石太郎・吉村武

- 彦), 1988年2月24日, JR千葉駅ビルペリエホール
- 「古代の文字」, 鹿島町講演会, 1988年3月19日, 茨城県鹿島町
- 「律令時代農民の暮らし」, 歴博友の会セミナー, 1988年3月26日, 千葉県教育会館
- 「王賜」銘鉄剣の発見とその意義」, 千葉県中学校校長会記念講演, 1988年5月17日, 千葉県教育会館大ホール
- 「古代史を揺がす房総の文字資料」, 千葉市民文化大学講座(全3回), 千葉市文化センター
- 第1回「古代房総と金石文」, 1988年5月27日
- 第2回「房総と律令制支配」, 1988年6月3日
- 第3回「古代房総の村々」, 1988年6月10日
- 「掘り出された古代の紙—漆紙文書を探る—」, 朝日カルチャーセンター・新宿講座(全8回), 新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター
- 第1回「漆のメカとその生産」, 1988年7月21日
- 第2回「漆のふた紙、と文書の反故」, 1988年7月28日
- 第3回「多賀城の復興と漆紙文書①」, 1988年8月4日
- 第4回「多賀城の復興と漆紙文書②」, 1988年8月11日
- 第5回「古代の暦—具注暦」, 1988年8月18日
- 第6回「住民台帳—計帳」, 1988年8月25日
- 第7回「公営高利貸の帳簿—出挙帳」, 1988年9月1日
- 第8回「古文考経」, 1988年9月22日
- 「下野国庁跡は語る」, 栃木市国府地区公民館主催教養講座講演, 1988年10月2日, 栃木市立国府北小学校体育館
- 「北総の古代」, 昭和63年度香取地区政治学級講演, 1988年10月21日, 佐原市中央公民館
- 「漆と東北古代史」, 山形県川西町文化財保護協会講演会, 1988年11月5日, 山形県川西町
- 「出土文字資料からみた古代の日本」, 昭和63年度かながわ県民アカデミー『考古学を学ぶ』講演, 1988年11月21日, 神奈川県埋蔵文化財センター研修室
- 1989年
- 「武蔵台遺跡と漆紙文書について」, 府中市府中郷土の森企画展記念講演会, 1989年6月11日, 府中郷土の森博物館
- 「武蔵台遺跡の具注暦」「東国の村落と墨書土器」「村落のいのり」他(全8回), 朝日カルチャーセンター・新宿講座, 1989年7月13日~9月14日, 新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター
- 「漆紙文書の研究をめぐる」, 古代学協会東京支部例会講演, 1989年7月21日, 一ツ橋学会館
- 「古代遺跡から出土した文字資料について」, 東京都博物館職員(学芸員)研修会講演, 1989年12月13日, 東京文化会館中会議室
- 1990年
- 千葉市民大学日本史講座(全4回), 千葉市文化センター
- 第1回「国府の暮らし」, 1990年5月30日
- 第2回「郡家の暮らし」, 1990年6月6日
- 第3回「村の暮らし」, 1990年6月13日
- 第4回「村人のいのり」, 1990年6月20日
- 「古代の東北史—城柵とその周辺—」(全7回), 朝日カルチャーセンター・新宿講座, 新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター
- 第1回「五月六日付のたより」, 1990年7月12日
- 第2回「最古の城柵」, 1990年7月19日
- 第3回「城柵の造営」, 1990年7月26日
- 第4回「城柵と祭祀」, 1990年8月9日
- 第5回「出羽国府論」, 1990年8月16日

第6回「なぞの城柵」, 1990年8月23日

第7回「城柵内の神」, 1990年8月30日

「発掘された古代文書—漆紙(うるしがみ)の威力—」, 秋田城を語る友の会主催講演, 1990年7月15日, 秋田県生涯教育センター

「古代出土文字資料研究の現状」, 石川県埋蔵文化財センター研修会講演, 1990年9月26日, 石川県埋蔵文化財センター

「人面墨書土器とその文字について」, 神奈川県地域史研修会・藤沢市文書館, 1990年10月7日, 藤沢市労働会館ホール

「古代の農民と文字」, 鳩山町文化財講演, 1990年11月18日, 埼玉県鳩山町

「金沢市上荒屋遺跡木簡について」, 木簡学会研究発表, 1990年12月1日, 奈良国立文化財研究所

1991年

「秋田城外郭東門跡付近出土の木簡」, 木簡学会第13回研究集会, 12月8日, 奈良国立文化財研究所

「日本史のなかの環境破壊」, 創設10周年記念歴博フォーラム(企画・司会), 11月20日, 東京・朝日ホール/11月30日, 大阪科学技術センター

1993年

「『原平泉』の歴史的環境」, 北上川流域の歴史と文化を考える会主催シンポジウム『蝦夷の大地から平泉の世紀へ』, 5月30日, 一関文化センター大ホール

「出土文字資料の調査と保存」, 8月6日, 埼玉県教育委員会他主催 埼玉県文化財講習会講演

「古代東北史の視点」, シンポジウム『討論 北からの日本史』, 9月17日, 郡山ビューホテルアネックス

「今、開かれる古代史の宝庫—八幡林遺跡—」, 新潟八幡林遺跡保存実現記念講演, 12月12日, 新潟市沼垂白山神社

「墨書土器が語るもの」, 財団法人茨城県教育財団研修会講演, 2月21日, 茨城県教育財団

「漆紙文書が語る古代史」, 秋田県埋蔵文化財センター主催 秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会講演, 3月13日, 本荘由利市町村圏組合広域交流センター

1994年

「地下の正倉院文書—漆紙の威力—」, 歴博講演会, 5月14日, 国立歴史民俗博物館

「多賀城碑と審議論争」, 群馬県立歴史博物館企画展「三古碑は語る」記念講演, 8月21日, 群馬県立歴史博物館

文化財講演会「古代北上川の水運と桃生城」, 桃生郡北上地区教育委員会, 9月9日, 河北町役場

研究報告「八幡林遺跡木簡と地方官衙論」, 木簡学会新潟特別研究集会, 9月24日, 新潟大学

「古代遺跡と出土文字資料」, 長野市立博物館歴史講演会, 10月23日, 長野市立博物館

1995年

「奈良時代の信濃国」, 更埴市教育委員会主催 第1回シナノクニフォーラム, 2月4日, 長野県立歴史館

「木簡が語る古代のいわき」, いわき市文化センター講演, 3月4日, いわき市文化センター

「出土文字資料と古代史」, 三田古代史研究会講演, 3月25日, 慶応義塾大学三田校舎

研究発表「熊本県の浄水寺碑について」, 第6回観世音寺領荘園研究会, 3月28日, 九州大学文学部

公開講演「発掘された古代文書—籍帳制を考える—」, 九州史学研究会, 9月30日, 九州大学国際ホール

「古代の地方社会」, 大阪府近つ飛鳥博物館歴史セミナー第3回講演会, 10月21日, 大阪府近つ飛鳥博物館地階ホール

「木簡からみた古代東国」, かながわ県民アカデミー, 11月4日, 神奈川県立歴史博物館

研究報告「古代地方文書行政の実態—郡符木簡と計帳」, 日本考古学協会1995年度大会シンポジウム『地方官衙とその周辺』, 11月11日, ひたちなか市文化会館

「ヘラ書き土器の謎」, 島根県玉湯町郷土史セミナー『古代社会を解く出土文字』, 11月19日, 玉湯町中央公民館

1996年

「木簡からみた地方官衙の実像」, 第22回古代城柵官衙遺跡検討会, 3月3日, 新潟市万代市民会館

- 「古代地方社会の扉を開く—発掘された文字から—」, 第16回埋蔵文化財特別講座 石川県埋蔵文化財センター講演, 3月16日, 石川県立社会教育センター
- 「地下の文字から古代地方社会を読む」, 九州歴史大学講座シンポジウム『考古学と文字』, 4月13日, 明治生命ホール(福岡市)
- 「人名の表記—最新の古代木簡から発して—」, 国史学会公開講演会, 6月1日, 國學院大學
- 「多賀城碑について」, 皇學館大学公開講座, 7月20日, 皇學館大学
- 「烽(とぶひ)遺跡発見の意義」, 『シンポジウム 古代国家とのろし—宇都宮市飛山城跡発見の烽跡をめぐって—』基調報告・司会, シンポジウム・古代国家とのろし実行委員会, 9月15日, 宇都宮市東コミュニティーセンター
- 「古代文字資料の現状について—古代の相模を中心として—」, 神奈川県遺跡調査・研究発表会講演, 9月23日, 茅ヶ崎市民会館
- 「古代地方社会の実像—最新の木簡から—」, 万葉学会全国大会講演, 10月5日, 東京大学教養学部講堂
- 「古代印の編年を目指して—国立歴史民俗博物館古印調査中間報告」, 正倉院文書研究会, 10月26日, 大阪市立大学文化交流センター
- 「屋代木簡と古代の地方社会」, 長野県立歴史館企画展『木簡が語る古代の信濃』記念講演, 11月3日, 長野県立歴史館
- 「郡符木簡などからみた末端行政の実態」, 奈良国立文化財研究所研究集会『律令国家の地方末端支配機構をめぐって』, 12月6日, 奈良国立文化財研究所
- 「発掘された文字が語る古代社会」, 仙台市文化財展記念講演会, 12月8日, 仙台市博物館

1997年

- 「最新の出土文字から古代の福島を読む」, 福島県考古学会講演, 3月15日, 福島テルサ
- 研究発表「出土文字資料と正倉院文書」, 東京大学史料編さん所シンポジウム『正倉院文書研究と古代文書論』, 6月20日(21日), 東京大学山上会館大会議室
- 「日本列島における文字のはじまりとひろがり」, 歴博講演会, 7月12日, 国立歴史民俗博物館
- 「土器に記された古代人のメッセージ」, 八千代市歴史民俗資料館企画展『村上郷の文化人たち—墨書土器は語る—』講演会, 7月27日, 八千代市歴史民俗資料館
- 「古代碑文の語るもの—宮城・多賀城碑と熊本・浄水寺碑—」, 歴博講演会, 11月8日, 国立歴史民俗博物館
- 「発掘された文字から古代の印幡地方を探る」, 印旛郡市文化財センター企画展『地名・文字・記号』講演会, 11月15日, 印旛郡市文化財センター
- 「調査研究の最近の動向(2) 歴史学」, 平成9年度歴史民俗資料館等専門職員研修会, 11月19日, 国立歴史民俗博物館
- 「環境と歴史学(1)(2)」, 慶応義塾大学1997年度「環境問題と大学」講座, 12月12・19日, 慶應義塾大学

1998年

- 「発掘された文字から古代の武蔵を探る」, 川越市遺跡発表会記念講演, 1月24日, 川越市立博物館
- 「熊の山遺跡と中原遺跡出土の墨書・刻書土器について」, 茨城県教育財団研修会, 2月12日, 茨城県教育財団島名事務所
- 「古代の郡家と郷」, 福島県文化センター記念講演, 2月20日, 福島県文化センター
- 「蛇喰遺跡のへら書き土器の意味するもの」, 島根県玉湯町立出雲玉作資料館シンポジウム『へら書き土器のなぞ』基調講演, 3月22日, 玉造温泉ゆ-ゆ大ホール
- 「歴史学の新展開」, 千葉歴史学会大会公開講演, 5月17日, 千葉大学
- 「七世紀の地方社会と木簡—屋代木簡をめぐって」, 木簡学会長野特別研究集会(実行委員長・研究集会所会), 6月6日, 長野県立歴史館
- 「地方木簡と古代の社会」, 屋代木簡公開シンポジウム『今よみがえる信濃の古代』基調報告, 今よみがえる信濃の古代シンポジウム実行委員会, 6月7日, 長野県立歴史館
- 「古代社会と環境—地域史の確立をめざして—」, 北の文化交流史研究事業関連講演会『北の文化を考える—古代・中世社会と古環境』, 10月18日, 北海道立開拓記念館

「多賀城碑」, 重要文化財指定記念講演会『多賀城碑の復権』, 5月9日, 多賀城南門跡南側広場
「木簡が語る越後の古代」, 遺跡シンポジウム『今, 注目される越後の古代—和島村出土木簡の意義—』基調講演, 6月21日, 新潟県和島村勤労福祉センター
「秋田城跡第72次調査出土の漆紙文書」, 秋田城を語る会講演, 10月10日, 護国神社
「古代日本の文字世界」, 古代史・考古学・国語・国文学シンポジウム(コーディネーター・司会), 11月1日, 有楽町マリオン朝日ホール
「歴史探訪—漆紙文書」, 『はばたけ秋田っ子』講演(秋田市市内中学生対象)教育推進事業, 11月6日, 秋田城調査事務所

1999年

「墨書土器研究の現状と課題」, 新潟県墨書土器研究会講演, 1月31日, 新潟大学
「墨書土器と古代社会」, 栃木県埋蔵文化財センター研修会講演, 3月19日, 栃木県埋蔵文化財センター
「地域社会と環境—歴史学の新展開—」三田史学会大会公開講演, 6月26日, 慶應義塾大学三田校舎
「墨書土器研究の現状」, 千葉県文化財センター設立25周年記念基調講演, 千葉県文化財センター, 10月17日, さわやか千葉県民プラザ
「土に埋もれた文字(墨書土器とヘラ書き土器)」, しまね県民大学専門講座, 島根県立生涯学習推進センター, 11月3日, 玉湯町中央公民館
「掘り出された古代の文字」, 大東文化大学オープンカレッジ講座, 大東文化大学エクステンションセンター, 11月5日, 大東文化大学板橋校舎
「日本古代木簡研究の現状と新視点」「咸安・城山山城木簡」, 国際学術会議基調講演, 韓国古代史学会, 11月12日, 金海国立博物館
「柳之御所出土の銅印」, 柳之御所資料館開館記念講演, ふれあい歴史のさと事業推進委員会, 11月21日, 平泉ホテル武蔵坊

2000年

「新発見の「種子札」と稲作」, 山梨郷土研究会総会記念講演, 山梨郷土研究会, 1月29日, 甲府市ニュー機山
「地域振興と歴史学の役割—新しい下野の古代史を掘りおこす—」, 第24回栃木県文化振興大会記念講演, 栃木県文化協会, 2月4日, 栃木市文化会館大ホール
「北の古代文字世界—土器に書かれた「夫」ははたして「夷」か!—」, シンポジウム『北の古代文字世界』基調講演, 青森市教育委員会, 3月11日, 青森市総合社会教育センター
「日本古代の文字世界—王賜銘鉄剣から墨書土器まで—」, 市原市文化財センター第15回遺跡発表会特別講演, 3月12日, サンプラザ市原
「掘り出された世界の古代文字—日本列島における文字のはじまりとひろがり—」, 2000年度早稲田大学オープンカレッジ, 早稲田大学エクステンションセンター, 4月27日, 5月11日, 早稲田大学EX本館
「古代の下野と豊かな自然」, まなびすとアカデミー合同開講式記念講演, 日光市教育委員会, 5月24日, 日光市総合会館
「木簡が語る地方社会と行政」, 講座「新発見資料に探る7世紀の古代日本」, 朝日カルチャーセンター・横浜, 10月6日, 横浜駅ビル「ルミネ横浜」8階朝日カルチャーセンター
「古代の信濃の文字世界」, 秋季展示『信濃で文字が使われ始めた頃—律令時代の文字事情—』記念講演, 飯田市上郷考古博物館, 10月8日, 上郷別府コミュニティーセンター
「家持と日本海沿岸の文字世界」, 2000年秋季高岡万葉セミナー「万葉びどはどう書いたか」, 10月29日, 高岡市万葉歴史館講義室
「歴史・風土に根ざした郷土の川づくりフォーラム in 北上川」パネリスト, 建設省, 11月18日, 一関市総合体育館(ユードーム)
「新発見・北陸道に立てられた古代のお触れ書き—加賀郡勝示札—」, 石川県埋蔵文化財センター, 11月19日, 石川県社会教育センター講堂
「古代人の情報記録—木簡から読み解く—」, 平成12年度徳島大学学術情報に関する講演会, 12月8日,

徳島大学附属図書館

2001年

- 「出土文字が語る古代社会」, 茨城県教育財団主催講演会, 1月13日, 茨城県立歴史館講堂
- 「古代の祭祀—その多面性を出土文字資料から探る—」, 平成12年度考古学ゼミナール〔祭祀特集〕講演, かながわ考古学財団, 1月24日, 神奈川県生涯学習情報センター
- 「8世紀後半の蝦夷政策」, 第27回古代城柵官衙遺跡検討会基調報告, 古代城柵館遺跡検討会, 2月25日, 東北歴史博物館
- 「古代の木簡を読む—行政支配と庶民の生活—」, NHK文化センター主催新都心文化講演会, 3月19日, 野村ホール「古志田東遺跡の木簡」, 古志田東遺跡国指定記念講演・シンポジウム『古志田東遺跡の世界を考える』基調報告, 米沢市教育委員会, 3月20日, 置賜総合文化センターホール
- 「古代人の多彩なメニュー—農民は米を常食としたらどうか—」, 福島県立博物館企画展『食と考古学』記念講演会, 4月29日, 福島県立博物館
- 「多賀城碑から日本の古代を読む」, 東北歴史博物館企画展『ふるきいしぶみ—多賀城碑と日本古代の碑』記念講演, 5月6日, 東北歴史博物館
- 「出土文字資料からみた地方の交通」, 古代交通研究会大会, 6月17日, 日本大学文理学部
- 「発掘された文字が語る日本史」, 埋蔵文化財展「発掘された文字世界」関連講演会, 愛知県教育委員会, 8月19日, 御津町文化会館ハートフルホール
- 「古代の人々と文字」, 美濃加茂市民ミュージアム企画展『文字の登場そしてひろまり—古代・中世の人と文字をめぐる—』, みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム, 9月30日, 美濃加茂市民ミュージアム
- 「最新出土文字資料からみた越後の古代」, 新潟県立歴史博物館, 10月14日, 新潟県立歴史博物館
- 「古代日本の文字世界」, 総合研究大学院大学 文化科学研究科日本歴史研究専攻 歴博大学院説明会, 10月20日, 国立歴史民俗博物館
- 「古代人と文字」, 東和町歴史講演会, 岩手県縄文の装飾品展実行委員会・東和町教育委員会, 10月21日, 岩手県東和町総合福祉センター 大ホール
- 「歴史学の新生—地域社会と環境—」, 駒沢大学大学院史学会, 10月27日, 駒沢大学
- 「古代日本と朝鮮は共通の文字文化をもっていた」, 茨城県鹿嶋市文化スポーツ振興事業団, 11月4日, 鹿嶋勤労文化会館
- 「加賀郡勝示札について」, シンポジウム『古代北陸道に掲げられたお触れ書き』基調報告, 石川県教育委員会・石川県埋蔵文化財センター, 11月17日, 石川県文教会館大ホール
- 基調講演「古代日本の文字世界」, 関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員共同研修協議会・千葉県教育委員会, 11月21日, ホテルポートプラザちば
- 共同講演「日本古代木簡の特質」, 『第8回安芸のまほろばフォーラム 国分寺造営の謎を探る—史跡安芸国分寺跡出土木簡は語る—』, 東広島市教育委員会, 12月9日, 東広島市民文化センター アザレアホール
- 「出土文字資料から古代東北を読む」, 神奈川県考古学同好会, 12月19日, 神奈川県文化財センター

2002年

- 「墨書土器が語るもの」, 富山県埋蔵文化財担当職員研修会, 2月14日, 富山県埋蔵文化財センター
- 「墨書土器と地方官衙」, 滋賀県立安土城考古博物館成果展『陸路・海路の考古学—高島・湖北バイパス関連遺跡—』関連シンポジウム記念講演, 滋賀県文化財保護協会, 3月3日, 滋賀県立安土城考古博物館
- 「古代日本の文字世界」, 歴博講演会, 3月9日, 国立歴史民俗博物館
- 「文字の歴史—文字文化の展開—」, 第84回阪急文化セミナー京都文化博物館特別展『古代日本 文字のある風景』関連企画講演, 6月28日, 阪急電鉄本社エコルテホール
- 「国立歴史民俗博物館の地域における役割—自ら学び, 自ら考え, 自ら行動するために—」, 印旛都市生涯学習振興大会講演, 7月30日, 佐倉市民音楽ホール
- 「古代社会と文字のはじまり」, 東アジアの古代文化を考える会 八月度考古学講演会, 8月10日, 東京芸術劇場大会議室
- 「墨書土器から見た古代の下総」, しづ市民大学, 10月5日, 佐倉市志津公民館

「古代日本における紙の文書と木簡」, 日本古文書学会公開講演, 10月19日, 法政大学ポアソナードタワー
「新信濃古代史展観」, 八十二文化財団講演会, 10月20日, 八十二別館 AV 教室 (長野市)
「木簡が語る古代社会」, 兵庫県立歴史博物館特別展『古代兵庫への旅—奈良・平安の寺院と役所—』記念講演, 10月27日, 兵庫県立歴史博物館
「古代日本と文字」, 宮崎県総合博物館企画展『古代日本 文字のある風景』記念講演, 11月3日, 県民文化ホール (宮崎市)
「さがみの国の木簡」, 神奈川県立歴史博物館県博セミナー「古代の相模国と都の文化交流」, 11月10日, 神奈川県立歴史博物館講堂
「木簡・墨書土器を読む」, 聖徳大学公開学術講演会「日本の古代を読む」, 11月16日, 聖徳大学言語文化研究所
「古代印の資料分析」, 歴史研修会「調査研究と資料収集② 資料分析」, 11月25日, 国立歴史民俗博物館
「日本歴史における災害と開発」, 内閣府講演, 12月3日, 内閣府 (防災担当) 会議室

2003年

「日本列島における文字のはじまりとひろがり」, 香川県立歴史博物館企画展『古代日本 文字のある風景』記念講演, 2月16日, 香川県立歴史博物館講堂
「河北潟・河川と地域社会の展開」, 科学研究費補助金「前近代の潟湖交通と遺跡立地の地域史的研究」公開シンポジウム研究発表, 3月2日, 新潟市万代市民会館
「文字を使いこなす」, 朝日カルチャーセンター・横浜, 4月5日, 横浜駅ビル「ルミネ横浜」8階 朝日カルチャーセンター
「古代東国と文字」, 横浜市歴史博物館企画展記念講演, 5月3日
「新しい古代史—海・潟・川と地域社会の展開—」(全4回), 千葉市民文化大学講座, 5月28日-6月18日, 千葉市文化センター
「“香取の海”と墨書土器」, 祭祀考古学会大会記念講演, 6月7日, 國學院大學
「古代地方社会と文字」, 美夫君志会全国大会招待研究発表, 6月28日, 中京大学
「総論: 古代史の新視点」, 朝日カルチャーセンター・千葉, 7月10日, 千葉中央ツインビル1号館 5階 朝日カルチャーセンター
「躍動する古代の地域社会—海・潟・川をめぐる古代史—」, 朝日カルチャーセンター・新宿, 7月17日-8月28日 (全5回), 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター
「古代地方社会と文字」, 第50回河北書道展記念講演, 8月8日, 仙台国際ホテル
「古代地方官衙と河川」, 山梨地方官衙研究会研究発表, 9月18日, 帝京大学山梨文化財研究所
「志波城はなぜ造られたか」, 志波城造営1200年記念事業シンポジウム『北の城柵とエミシ社会—志波城とその時代—』基調講演, 9月27日, 盛岡市民文化ホール
「河北潟・河川と地域社会の展開」, 科学研究費補助金・基盤研究 (A) (2)「前近代の潟湖交通と遺跡立地の地域史研究」公開シンポジウム『国際的視点からする潟湖河川交通と遺跡立地の地域史的研究』研究発表, 9月28日, 新潟大学
「古代の東海道と東山道」, 中野区古代を学ぶ会講演, 11月20日, 中野区勤労福祉会館
「漢字を掘る・読む」, 21世紀 COE プログラム早稲田大学アジア地域文化エンハンシング研究センター・国際シンポジウム『アジア地域文化の構築』記念講演, 12月13日, 早稲田大学総合学術情報センター 国際会議場

2004年

早稲田大学朝鮮文化研究所 21世紀 COE プログラム関連シンポジウム『韓国出土木簡の世界』パネリスト, 1月24日, 早稲田大学文学部
「出土した古代文字—墨書土器を中心として—」, 鎌ヶ谷市郷土資料館講演, 2月21日, 鎌ヶ谷市中央公民館
「人面墨書土器と海の道」, 神奈川地域史研究会・盤古堂付属考古学研究所主催シンポジウム『古代の祈り 人面墨書土器から見た東国の祭祀』基調講演, 5月16日, 藤沢市民会館 第一展示集会ホール

千葉市民文化大学講座日本史学科「発掘された文字から古代社会を探る」(全4回), 千葉市文化センター, 5月26日, 6月2・9・16日

第1回:「7世紀後半の税制と地名表記—都に貢進された各地の付札の語るもの(奈良県石神遺跡)」

第2回:「『太寶元年辛丑』と記す木簡—糸島半島の製鉄・港湾の拠点(福岡県元岡遺跡)」

第3回:「土地の売買を木に記す—出雲郡北部の重要拠点(島根県青木遺跡)」

第4回:「墨書土器『鴨寺』・『深見駅』と古代の村—勝示札発見の鴨遺跡とその周辺(石川県鴨遺跡と北中条遺跡)」

「ヤマトタケル^レ東征、の道—近年の考古学的成果から—」, 平成16年度古事記学会大会公開講演, 6月12日, 梅花女子大学澤山記念館

「文字文化から見た古代中国・朝鮮・日本の関係」, 生涯学習推進セミナー講演, 山梨県生涯学習推進センター, 7月2日, 県民文化ホール会議室

「古代の役所と文字資料」, 市制施行80周年・合併40周年記念第10回市内遺跡発掘調査成果展記念講演会講演, 郡山市教育委員会, 8月1日, 郡山市市民文化センター

「木簡からみた古代の地域社会と行政システム—氷上郡を中心として—」, 平成16年度氷上郡文化財審議委員研修会講演, 氷上郡教育委員会, 8月22日, かいばら生涯学習の森

「古代東国史の実像」, 上代文学会秋季大会シンポジウム『古代文学にとって東国とは何か』講演, 10月23日, 二松学舎大学九段キャンパス

「古代東北地方の軍団」, 中野区あけぼの会講演, 11月25日, 中野区郷土資料館

「防人と鎮兵—古代東国兵士の姿—」, 中野区古代を学ぶ会講演, 11月25日, 中野区勤労福祉会館

「古代の里と村—『風土記』記載の村との関連—」, 第二回風土記研究会講演, 11月28日, 学習院女子大学互敬会館

「歴史学と自然」, 学校法人渋谷教育学園渋谷中学高等学校進路講演, 11月29日, 渋谷中高等学校講堂

「古代日本地方社会と文字」, 立教大学東アジア地域環境問題研究所主催国際シンポジウム『歴史的コンテクストのなかにおける古代史料の「中心性」と「周縁性」』報告, 12月10・11日, 立教大学太刀川記念館

「よみがえる佐倉地方の地名—発掘された墨書土器から—」, 佐倉地名研究会公開講演, 12月18日, 佐倉市立中央公民館

2005年

「発掘された古代の暦と人々の生活」, ちはら台学歴史講座特別講演, 1月15日, ちはら台コミュニティセンター

早稲田大学朝鮮文化研究所21世紀COEプログラム関連シンポジウム『韓国出土木簡の世界Ⅱ』, パネリスト, 1月22日, 早稲田大学文学部

「古代の文字から見た郡家と集落」, 茨城県考古学協会シンポジウム『古代地方官衙周辺における集落の様相—常陸国河内郡を中心として—』報告, 2月12・13日, 茨城県立歴史館講堂

「古代甲斐国の道—ヒト・モノの交流—」, 平成17年度山梨ことぶき勸学院・大学院第1回中央ふれあい学園文化講演会, 4月19日, 山梨県民文化ホール大ホール

「古代の東の道を行き交う人々—発掘された文字が語る」, 東北歴史博物館特別展『古代の旅』記念講演, 4月29日, 東北歴史博物館講堂

「古代国家と稲—1200年前の稲の品種札の発見から—」, 東大歴史連続講義「歴史をどう書くか」, 5月6日, 東京大学教養学部駒場キャンパス

「古代の祭祀—その多面性を出土文字からさぐる」, 第71回日本考古学協会総会「古代の信仰を考える」研究発表, 5月22日, 国士舘大学6号館

千葉市民文化大学講座日本史学科(全4回), 6月1・8・15・22日, 千葉市文化センター

第1回「中原遺跡出土防人木簡」

第2回「日本の都城と道の祭祀」

第3回「クナト(フナト)カミ・サイノカミそして道祖神」

第4回「道祖神信仰の流れ」

「古代『東国』論—歴史と文学の往来—」, 総合研究大学院大学日本歴史研究専攻第4回大学院講演会「歴史研究の最前線—歴史と文学のあいだ」, 国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学, 7月16日, 東京医科歯科大学医学部附属病院B棟 臨床講堂II
「新たな地域像にむけて—地域史の視点から—」, 全国史跡協議会東北地区協議会総会記念講演, 7月28日, 秋田キャッスルホテル
「出土文字を観る」, 全国大学書道学会千葉大会記念講演, 9月21日, 千葉大学教育学部
「百済と古代日本における道の祭祀—陽物木製品の検討を中心に—」, 第14回文化財研究
「再現 古代磐城の里—根岸官衙遺跡群を拠点として—」, 磐城官衙遺跡群国史跡指定記念講演会, 11月6日, 新舞子ハイツ
国際学術大学「百済泗沘時期文化の再照明」研究発表, 12月8日, 韓国国立扶餘文化財研究所
「宮城県名取地方の熊野信仰」, 神奈川県立歴史博物館県博セミナー「中世東国の熊野信仰を考える」第5回, 11月12日, 神奈川県立歴史博物館

2006年

「古代日本と百済における道の祭祀—陽物木製品の検討を中心に」, 早稲田大学朝鮮文化研究所 21世紀COEプログラム関連シンポジウム『韓国出土木簡の世界Ⅲ』研究報告, 1月14日, 早稲田大学戸山キャンパス
「古代の土器に記された文字から印波の歴史を読む」, 佐倉市民カレッジ記念講演, 1月6日, 佐倉市中央公民館
「網野史学と古代史研究」, 山梨県生涯学習推進センター研究大会「地域学と網野史学—新たなミュージアムの可能性—」基調報告, 2月8日, 山梨県総合教育センター
「歴史学と自然—人と自然との関わり—の歴史から我々の自然観・環境観を見直す—」, 山梨県立高校日本史教員研修会講演, 2月9日, 山梨県立博物館
「古代国家と稲」, 山梨県考古学協会第27回総会記念講演会, 2月12日, 山梨学院大学 生涯学習センター 講義室
「道祖神の源流—百済と古代日本における道の祭祀」, 東京都中野区古代を考える会講演, 2月13日, 中野区勤労福祉センター
「古代の甲斐国—湯之奥金山とその周辺—」, 平成17年度公開講座, 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館主催, 2月18日, 湯之奥金山博物館多目的ホール
「今, 歴史と環境を学ぶ」, 山梨県市町村教育委員会連合会「春季研修会」講演, 5月31日, 山梨県総合教育センター
「南が語る 古代日本の“東西南北”論」, 国立歴史民俗博物館友の会・明治大学博物館友の会共催 特別講演会, 7月21日, 明治大学アカデミーコモン
「墨書土器と“香取の海”」, 印旛郡市文化財センター第10回遺跡発表会講演, 7月22日, 佐倉市中央公民館
「古印(ハンコ)から日本の歴史を読む」, 印旛郡市文化団体連絡協議会記念講演, 7月29日, 国立歴史民俗博物館講堂
「古代農民は米を常食としたか」, 朝日カルチャーセンター・新宿公開講座, 8月5日, 新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター
「学校教育と博物館」, 第32回山梨県私学教育研修会地歴・公民科部会講演, 私学研修福祉会主催, 8月18日, 山梨県立博物館
「甲斐の国号の成り立ち」, 山梨中央銀行八代支店木曜会講演, 8月29日, 山梨中央銀行八代支店
「開かれた山国」, 山梨県生涯学習推進センター山梨学講座「山梨の人と文化5—山と向き合った人々」基調講演, 9月2日, 山梨県立男女共同参画推進センター
「漢字文化のひろがり」, 九州国立博物館国際シンポジウム『漢字文化のひろがり—日本・韓国出土の木お簡を中心に』基調講演, 9月17日, 九州国立博物館ミュージアムホール
「木簡から見た古代の氷上」, 兵庫県教育委員会・丹波市教育委員会主催 兵庫県立考古博物館(仮称)先行

ソフト事業地域文化財展講演会「古代氷上郡の役所と村—木簡と遺跡から考える—」, 9月23日, 丹波市春日文化ホール

「道祖神信仰の源流—陽物木製品の検討を中心に—」, 慶應義塾大学文学部国文学研究会主催 折口信夫・池田弥三郎記念講演会, 10月14日, 慶應義塾大学三田北館ホール

「学校教育と博物館—地域史の展開—」, 山梨県総合教育センター博学連携特別研修会講演, 11月20日, 山梨県総合教育センター大研修室

2007年

「木簡研究の視点と展開」, 韓国木簡学会設立総会記念講演, 1月9日-12日, ソウル市立大学

「韓国出土木簡と日本古代史研究」, 早稲田大学21世紀COEプログラム関連シンポジウム『韓国出土木簡30年』講演, 1月13日, 早稲田大学戸山キャンパス

「これからの博物館のあり方—歴史学と博物館—」, 平成18年度博物館指導者研究協議会講演, 2月1日, 山梨県立博物館

「歴史学と自然—人と自然の関わり—の歴史から我々の自然観・環境観を見直す—」, 東北芸術工科大学卒業終了研究・制作展2006公開ギャラリートーク企画「カフェ@ラボ vol.1 歴史遺産と社会のつながり」, 2月15日, 東北芸術工科大学

「よみがえる古代文書—漆に封じ込められた日本社会」, 群馬県埋蔵文化財調査事業団平成18年度公開考古学講座講演, 2月17日, 前橋テルサ大ホール

「博物館と地域社会」, 日本学術会議中国・四国地区公開学術講演会「博物館の役割」講演, 3月10日, 広島大学学士会館レセプションホール

「古代国家と稲—1200年前の稲の品種札の発見から—」, 館長特別講演会, 国立歴史民俗博物館友の会・明治大学博物館友の会共催, 4月21日, 国立歴史民俗博物館講堂

「種子札（たねふだ）」の発見と古代の稲作」, 千葉県高等学校教育研究会歴史部会平成19年度総会・春季研究協議会記念講演, 6月29日, 千葉県立中央博物館講堂

「古代人は自然とどのように向き合っていたか」, 朝日カルチャーセンター・新宿公開講座, 7月7日, 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター

「古代日本と東アジア」, 第2回管理職研修・校長等研修会講演, 山梨県教育委員会・甲府市公立小中学校長会共催, 7月30日, 甲府市教育研修所

「出土文字資料から読み解く古代社会」, 小学館・朝日新聞社主催 小学館創立85周年企画『全集日本の歴史』創刊記念講演会「歴史から学ぶことの大切さ」基調講演・対談（作家・立松和平）, 9月17日, 浜離宮朝日小ホール

「出土文字資料から読み解く古代社会」, 小学館・朝日新聞社主催 小学館創立85周年企画『全集日本の歴史』創刊記念講演会「歴史から学ぶことの大切さ」基調講演・対談（ジャーナリスト・池上彰）, 10月6日, クレオ大阪西

「米作国家のはじまり」, 人文学フロンティア2007岡山大学文学部シンポジウムI『日本の原像』講演・鼎談（松木武彦・今津勝紀, 司会：新納泉）, 10月13日, 岡山大学50周年記念会館ホール

「古代信濃の文字」, 上田市立信濃国分寺資料館特別展講演会, 10月21日, 上田市立信濃国分寺資料館講堂

「古代の人たちはどの程度文字が書けたのか？読めたのか？」, Evening Forum（第1回）, 山梨県生涯学習推進センターほか主催, 10月31日, 山梨県生涯学習推進センター・セミナー室

「日本列島の東と西」, 房総古代学研究会設立記念講演会, 11月17日, 千葉市民会館第3・第4会議室

2008年

「出土文字資料からみた古代東国の人々の生活」, かながわの遺跡展講演, 神奈川県教育委員会主催, 1月14日, 神奈川県立歴史博物館講堂

「列島の東と西」, 中野区古代を学ぶ会講演, 2月12日, 中野区勤労福祉会館

「古代日本の東と西」, JR東日本大人の休日ジパング倶楽部「趣味の会」奈良時代を歩く講座 特別講演会, 3月12日, 東京ステーションシティ・サピアタワー

「歴史が未来を切り拓く—現代の視点から日本の古代史をみつめる—」, 第51期「生産性トップマネジメ

-
- ントクラブ」2008年3月例会講演，千葉県生産性本部主催，3月13日，京成ホテルミラマール
- 「新『古代東国論』」，館長特別講演会，国立歴史民俗博物館友の会主催，5月24日，国立歴史民俗博物館講堂
- 「これからの地域博物館の指名と役割」，平成20年度関東地区博物館協会総会講演，関東地区博物館協会総会主催，5月30日，ホテルプリランテ武蔵野
- 「新発見！古代の辺境世界」，工学院大学・朝日カレッジ主催，7月5日，工学院大学新宿キャンパス
- 「木簡を観る」，「【準備研究】古代における文字文化の形成過程の基礎的研究」2008年度第1回研究会報告，7月13日，国立歴史民俗博物館
- 「古代の行政と交通」，山梨県立博物館館長トーク，7月20日，山梨県立博物館
- 「古代から続く日本文化の源流」，平成20年度東京未来塾課題解決学習5講義，東京都職員研修センター主催，7月24日，国立歴史民俗博物館
- 「今後の日本の博物館のあり方について」，千葉県教育振興財団職員研修会，千葉県教育振興財団主催，7月25日，千葉県教育振興財団4階大会議室
- 「古代日本出土文字資料研究の現状と課題」，成均館大学校東アジア学術院人文韓国事業団国際学術会議，8月29日，韓国・成均館大学校東アジア学術院
- 「地下から発見された1200年前の紙—漆紙文書の世界—」，第26回紙感謝祭講演，熱海市文化団体連合会主催，9月7日，熱海市文化観光サロン「起雲閣」
- 「稲と雑穀の歴史から学ぶこと」，セキュリティ・フォーラム講演，CR&S総合研究所主催，9月18日，J・P本社ビル3階セミナールーム
- 「歴史の宝庫—多賀城」，多賀城市歴史講演会，多賀城市・多賀城市教育委員会主催，10月4日，多賀城市文化センター小ホール
- 「注目！古代朝鮮木簡」，Evening Forum 2008(第2回)，山梨県生涯学習推進センターほか主催，10月29日，山梨県生涯学習推進センター・セミナー室
- 「古代の成田と“香取の海”」，市史講座講演，成田市教育委員会主催，11月1日，成田市役所6階大会議室
- 「地域社会と博物館—歴史に学び未来に生かす」，第56回全国博物館大会記念講演，日本博物館協会主催，11月20日，島根県民会館
- 「古代日本と朝鮮の文化交流 注目！韓国木簡」，創立20周年記念の集い館長特別講演会，国立歴史民俗博物館友の会主催，11月22日，国立歴史民俗博物館講堂
- 「古代日本と朝鮮の文化交流—韓国木簡調査から—」，土曜教養講座講演会，慶応あるびよんくらぶ主催，12月13日，慶應義塾大学三田キャンパス
- 2009年
- 「出土文字から読み解く古代東北」，平成20年度埋蔵文化財公開講座，岩手県埋蔵文化財センター主催，1月24日，岩手県民会館中ホール
- 「古代国家と文字文化—東南アジア交流の原点“文字”—」，横浜市歴史博物館開館14周年記念特別講演会，横浜市歴史博物館主催，2月8日，横浜市歴史博物館講堂
- 「扶餘双北里遺跡出土木簡について」，「【準備研究】古代における文字文化の形成過程の基礎的研究」2008年度第3回研究会報告，3月29日，国立歴史民俗博物館
- 「歴史に学ぶ 稲と雑穀」千葉県立東葛飾高等学校創立記念講演会，千葉県東葛飾高等学校主催，4月10日，東葛飾高等学校体育館
- 「今，歴史に学ぶ—種子札の発見と古代の稲作—」，味の素食の文化センター設立20周年記念講演，味の素食の文化センター主催，4月17日，東京會館ゴールドルーム
- 「韓国木簡の語るもの—古代日本にもたらされた政治と文化—」，韓国国立扶餘文化財研究所・国立加耶文化財研究所主催，国際学術大会，6月4日，韓国・咸安文化会館
- 「注目！古代朝鮮木簡—新たな古代日本・朝鮮の交流史—」，朝日カルチャーセンター・新宿公開講座，7月4日，新宿住友ビル7階朝日カルチャーセンター
- 「日本の源流」(歴史は未来を切り拓く)，第9回佐倉三田会定期総会講演会，2009年7月5日，ウィッシュ
-

トンホテル・ユーカーリ

「1200年前の米に学ぶ」, 新世紀産業研究会 2009 年度通常総会・例会特別講演, 新世紀産業研究会主催, 9 月 3 日, 八重洲富士屋ホテル

「見えてきた墨書土器の世界」, 平成 21 年度千葉県出土遺物巡回展記念講演, 八千代市立郷土博物館主催, 9 月 6 日, 八千代市立郷土博物館学習室

「正倉院佐波理加盤付属文書の再検討—韓国木簡調査から」, 「【準備研究】古代における文字文化の形成過程の基礎的研究」2009 年度第 1 回研究会報告, 9 月 27 日, 国立歴史民俗博物館

「博物館と地域社会」, 平成 21 年度千葉県博物館協会研修シンポジウム「美術館・博物館が地域にできること」基調講演, 千葉県博物館協会主催, 10 月 9 日, 千葉県立中央博物館講堂

「出雲古代史研究への期待」, 第 9 回神在月古代文化シンポジウム「律令国家と出雲国の成立」基調講演・パネリスト, 島根県古代文化センター・島根県立古代出雲歴史博物館, 10 月 18 日, 大社文化プレイスうらら館だんだんホール

「古代の米作りと大和一香芝市下田東遺跡の木簡—」, 奈良県香芝市二上山博物館特別展記念講演会, 香芝市教育委員会主催, 10 月 25 日, ふたかみ文化センター 1 階・市民ホール

「百済の都出土木簡と古代日本」, 館長特別講演会, 国立歴史民俗博物館友の会主催, 11 月 7 日, 国立歴史民俗博物館講堂

「出土文字資料と地方社会」, 日本史研究会 11 月例会報告, 11 月 28 日, 京都府機関紙会館

「地方木簡からみた日本史」, 木簡学会 30 周年記念講演, 12 月 6 日, 奈良県公会堂

「日韓古代史の年紀表記」, 国立歴史民俗博物館・釜山大学校博物館主催国際研究集会「日韓における古墳・三国時代の年代観 (III)」基調講演, 12 月 12 日, 九州国立博物館

2010年

「地方の木簡から古代史を読みなおす」, 中野区古代を学ぶ会講演, 2 月 2 日, 中野区勤労福祉会館

「博物館・美術館と地域社会」, 滋賀県博物館協議会平成 21 年度第 2 回研修会, 2 月 6 日, 滋賀県立琵琶湖博物館ホール

「古代日本の文字の始まりと広がり—墨書土器の世界の実相—」, 千葉県遺跡調査研究発表会, 千葉県教育振興財団ほか主催, 2 月 21 日, 千葉県立中央博物館講堂

「新古代東国論」, 日本考古学協会第 76 回総会・講演, 日本考古学協会主催, 5 月 22 日, 国士舘大学中央図書館

「馬と古代社会—渡来人・牧・「馬道」—」, 朝日カルチャーセンター・新宿公開講座, 7 月 3 日, 新宿住友ビル 7 階 朝日カルチャーセンター

パネルディスカッション「多賀城に生きた人びと」, 多賀城跡調査 50 周年記念フォーラム「よみがえる北の都—多賀城に生きた人びと—」パネリスト, 宮城県多賀城跡調査研究所主催, 9 月 23 日, 多賀城市文化センター大ホール

「古代地方都市論—多賀城とその周辺—」, 平成 22 年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第 23 回研修会, 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催, 10 月 7 日, ホテルキャッスルプラザ多賀城

「日本古代における文字使用」, 愛媛大学公開シンポジウム『東アジアの出土資料と情報伝達』, 愛媛大学「資料学」研究会, 10 月 9・10 日, 愛媛大学法文学部

「博物館における市民協働を考える」, 横浜市歴史博物館関連団体連絡会主催, 10 月 23 日, 横浜市歴史博物館講堂

「日本歴史における東と西」, 第 54 回香料・テルペンおよび精油科学に関する討論会・特別講演, 香料・テルペンおよび精油科学に関する討論会主催, 10 月 24 日, 山梨大学甲府キャンパス

「日本古代の地方木簡と羅州木簡」, 韓国国立羅州文化財研究所開所 5 周年記念国際学術大会「6-7 世紀楽山江流域と百済」研究発表, 10 月 28 日, 韓国・羅州

「日本古代の地方木簡と羅州木簡」, 国立歴史民俗博物館共同研究「古代における文字文化形成過程の総合的研究」・科学研究費（基盤研究 (A)）「古代における文字文化形成過程の総合的研究」共同開催 2010 年度第 2 回研究会報告, 10 月 30 日, 国立歴史民俗博物館

「古代の地域社会」(第1部 律令国家の地方支配・第2部 出土文字資料が語る地域社会), 第5回史跡弥勒寺官衙遺跡群講演会, 岐阜県関市教育委員会主催, 11月3日, わかくさ・プラザ「総合福祉会館」
「山口県にうずもれた文化財の再発見!」, 山口県文化財愛護協会設立40周年記念講演会, 山口県文化財愛護協会主催, 11月6日, 山口県政資料館
「再発見! 古代の気仙」, 気仙登場1200年記念講演会, 岩手県陸前高田市・陸前高田市教育委員会主催, 岩手県陸前高田市ふれあいセンター, 2010年11月13日
「新視点 古代の房総」, 平成22年度佐倉市民カレッジ講演, 佐倉市立中央公民館主催, 12月10日, 佐倉市立中央公民館
「古代甲斐国の庶民の姿」, 山梨学院生涯学習センター講座 やまなし学研究2010, 山梨学院生涯学習センター, 12月17日, 山梨学院50周年記念館クリスタルタワー
「新古代東国論—渡来人・東海道と東山道・東国の地名—」, 館長特別講演会, 国立歴史民俗博物館友の会主催, 12月18日, 国立歴史民俗博物館講堂

2011年

「古代の役所と地域社会」, 南相馬市博物館企画展示「古代陸奥国 行方の郡家」記念講演会, 福島県南相馬市博物館, 1月30日
「漆(うるし)の魔力」, 暮らしの植物苑観察会, 2月26日, 国立歴史民俗博物館暮らしの植物苑
「多胡碑の輝き」, 高崎市制施行110周年記念事業・多胡碑建郡1300年記念事業シンポジウム『多胡碑は何を伝えようとしたのか—多胡郡の成立とその時代—』, 高崎市・高崎市教育委員会・自治総合センター, 3月6日, 群馬県群馬音楽センター大ホール
「秋田県由利本荘市出土古代印について」, 国立歴史民俗博物館共同研究「古代における文字文化形成過程の総合的研究」・科学研究費(基盤研究(A))「古代における文字文化形成過程の総合的研究」共同開催2010年度第4回研究会報告, 3月27日, 安土考古博物館
「石碑から古代日本を見る—多賀城碑・多胡碑・金井沢碑・超名寺碑—」, 朝日カルチャーセンター・新宿公開講座, 7月16日, 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター
「古代房総と祭祀」, 古代史講演会「北下遺跡と下総国府・国分寺」, 市川緑の市民フォーラム・文化財保存全国協議会共催, 7月23日, 千葉商科大学1号館
「今, 古代東北沿岸地域史を語る」, 館長特別講演会, 国立歴史民俗博物館友の会主催, 国立歴史民俗博物館, 9月17日
「古代韓国と日本の文字文化交流」, 韓国国立中央博物館特別展『文字, それ以後—韓国古代文字展』記念シンポジウム, 韓国国立中央博物館, 10月14日
「徳丹城と古代日本—斯波郡建郡一二〇〇年—」, 平成23年度徳丹城歴史探訪事業記念講演, 11月13日, 矢巾町公民館
「古代日本と朝鮮の文字交流—文字と暦—」, 第14回「日本文化による国際貢献を考える研究会」講演, 中山恭子講演会主催, 11月28日, ホテルニューオータニ
「日本の原像—米作国家の始まり—」, 経営ビジョン構想懇話会, 日本生産性本部, 12月6日, ロイヤルパークホテル
「総論 日本における文字文化の形成」, シリーズ講座「古代日本・文字の来た道」(第6回), 朝日カルチャーセンター・千葉, 12月17日, 三井ガーデンホテル千葉5階 朝日カルチャーセンター

2012年

「今, 自然と人のかかわりの歴史を考える—環境の日本史—」, 佐倉市民カレッジ創立20周年記念講演, 1月12日, 佐倉市民音楽ホール
「古代東北・日本海沿岸地域史を語る—由利・大覚遺跡の銅印から発して—」, 由利本荘市文化財保護団体連合会講演会, 由利本荘市教育委員会・本荘地域文化財保護協会, 2月18日, 由利本荘市文化交流館「カダーレ」
「今, 自然と人のかかわりの歴史・文化を考える—博物館からのメッセージ—」, 平成23年度研究協議会「東日本大震災に学ぶ資料管理」基調講演, 日本博物館協会主催, 3月8日・9日, 仙台市博物館

「扶餘・東南里遺跡出土「宅教」木簡」, 国立歴史民俗博物館共同研究「古代における文字文化形成過程の総合的研究」・科学研究費（基盤研究（A）「古代における文字文化形成過程の総合的研究」共同開催 2011年度第3回研究会報告, 3月10日, 国立歴史民俗博物館

「日本文化の特質一稲と漆一」, 総合研究大学院大学 2011年度学術交流会講演, 総合研究大学院大学 葉山キャンパス, 3月22日

「今、自然と人のかかわりの歴史を考える」, 明治大学博物館友の会講演会, 5月12日, 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー

「発掘された文字と印旛郡の古代」, 第12回白井市文化講演会, 白井市教育委員会主催, 6月16日, 白井市文化会館中ホール

「古代「香取の海」と文字文化」, 日本文学風土学会春季大会, 6月23日, 国立歴史民俗博物館

「神仏への祈りと文字／文字を刻む—古碑と古印—」（第1回）・「古代日本と古代朝鮮の文字文化交流」（第5回）, 国立歴史民俗博物館協力講座「古代日本と古代朝鮮の文字文化交流」, 朝日カルチャーセンター・新宿, 7月7日・8月25日, 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター

「古代の甲斐国と酒折宮」, 学校法人山梨学院 平成24年度夏季行政職員研修会, 8月31日, 山梨学院50周年記念館クリスタルタワー

コメント「徳丹城とは何か?」, 徳丹城造営千二百年記念事業徳丹城シンポジウム『徳丹城とは何か』パネリスト, 矢巾町・矢巾町教育委員会主催, 9月30日, 矢巾町公民館大研修室

「博物館の可能性を求めて」, 平成24年度博物館長研修総括講義, 文部科学省, 10月12日, 国立教育政策研究所社会教育実践センター

「古代日本と古代朝鮮の文字文化交流」, 館長特別講演会, 国立歴史民俗博物館友の会主催, 11月17日, 国立歴史民俗博物館講堂

「古代日本と古代朝鮮の文字文化交流」, 歴博国際シンポジウム『古代日本と古代朝鮮の文字文化交流』（司会）, イイノホール, 12月15日-16日

「古代秋田における地域間交流—出土文字資料から見た秋田の躍動—」, 第34回市民文化のつどい・第10回郷土秋田を考える文化講演会, 秋田市教育委員会主催, 12月22日, 秋田市文化会館小ホール

2013年

「古代日本と古代朝鮮の文字文化交流」, 静岡新聞・静岡放送 SBS 学苑「古代史探訪」講演, 2月16日, SBS 学苑パルシェ校（静岡市）

「古代国家はどのように地方を支配したか—国・郡・里制の実態」, 朝日カルチャーセンター・新宿, 7月6日, 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター

「古代国家と稲」, 静岡新聞・静岡放送 SBS 学苑「古代史探訪」講演, 9月21日, SBS 学苑パルシェ校（静岡市）

「出土文字資料から古代東国を描く」, 東京都教育委員会・関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員共同研修協議会共催講演, 10月24日, 八王子市芸術文化会館いちようホール

「古代松戸と下総国府」, 松戸市立博物館特別展記念講演会②, 10月26日, 松戸市民劇場

「古代の気仙地方」, 復興支援「ちばの絆」プロジェクト発起人会主催「陸前高田城と千葉氏」学習会, 10月27日, 佐倉市中央公民館

〈国民文化祭記念特別講座〉「酒折宮と古代甲斐国」, 山梨生涯学習センター主催, 酒折連歌講座 2013 第4回, 11月2日, 山梨学院メモリアルホール

「内政・外交を映す多賀城碑」, 「多賀城碑のなぞを探る！」記念講演, 多賀城市文化遺産活用活性化実行委員会主催, 11月23日, 東北歴史博物館

「古代国家はいかに地方社会を支配したか」, 館長特別講演会, 国立歴史民俗博物館友の会主催, 11月30日, 国立歴史民俗博物館講堂

VII 展示・展示図録

1. 総合展示「律令国家」, 国立歴史民俗博物館, 1983年3月公開
2. 「屋代木簡と古代の地方社会」, 『木簡が語る古代の信濃—掘り出された地方行政と暮らし 1996年秋季企

-
- 画展』、長野県立歴史館、69頁、1996年
3. 企画展示「古代の碑—石に刻まれたメッセージ」、国立歴史民俗博物館、1997年9月30-11月24日
 4. 企画展展示解説書『古代の碑—石に刻まれたメッセージ』（編集、分担執筆）、図版編P8-9頁、P15-18頁、P57-63頁／論考編「浄水寺寺領碑—記載様式と内容構成」P98-101、国立歴史民俗博物館、1998年
 5. 「地方の木簡」、川崎市民ミュージアム編『木簡—古代からのメッセージ—木簡展解説図録—』、1990年10月
 6. 長野県立歴史館（仮称）準備常設展示制作調査監修—古代展示（マルチメディアを含む）（開館は1994年11月3日）
 7. 総合研究大学院大学 地域社会交流プログラム特別展示『科学の眼でみる日本の歴史』、2000年5月3日-7日、総合研究大学院大学葉山キャンパス
 8. 歴博特別企画展示「科学技術が拓く新しい歴史学」、日経2000年プロジェクト『21世紀夢の技術展』、日本経済新聞社、2000年7月21日-8月6日、東京国際展示場（東京ビッグサイト）
 9. 歴博創設20周年記念展示『古代日本 文字のある風景—金印から正倉院文書まで—』、国立歴史民俗博物館、2002年3月19日-6月9日
 10. 歴博創設20周年記念展示図録『古代日本 文字のある風景—金印から正倉院文書まで—』、217頁、国立歴史民俗博物館編、朝日新聞社、2002年
 11. 「古代における道の祭祀—道祖信仰の源流を求めて—」、山梨県立博物館開館企画展示図録『やまなしの道祖神祭り—どうそじん・ワンダーワールド』、山梨県立博物館、88-99頁、2005年
-